

平成 29 年度 教育委員会点検・評価報告書
【平成 28 年度事業】

平成 30 年 3 月
西予市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成 18 年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成 26 年 3 月に策定しました。その後、教育委員会では、この基本計画の一部改訂を平成 28 年 3 月に行っております。

今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただきご意見、ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

平成 30 年 3 月

西予市教育委員会

I 学識経験者の意見への対応状況

平成 27 年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、平成 28 年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（平成 27 年度事業）	対応状況 （平成 28 年度の取組）
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	
(1) 社会総がかりで取り組む教育の推進	評価結果<順調>
①国際化が進む時代の中で、語学の習得や異文化、習慣に肌で触れることは子どもたちの成長には貴重な体験である。事業が継続的に実施できていることを評価できる。参加した生徒が報告会を行うなど参加していない生徒へ情報提供をすることが大切である。また、西予市国際交流協会や愛媛大学の留学生と交流するなど、国際交流にもつなげていただきたい。（生徒国際交流事業）	①参加した生徒の海外研修報告は各中学校の文化祭で行っており、今後も研修の成果が広く波及するよう続けていきたい。平成 28 年度はニュージーランドからの訪問があり、市内各中学校での交流授業や生徒宅でホームステイ受入れを行うなど、多くの生徒が国際交流事業に関わることができた。海外研修だけではなく受入事業による国際交流も継続して行っていきたい。 また、西予国際交流協会では、市内小学生を対象としたデイキャンプ事業を行っており、愛媛大学留学生と一緒にゲームを行いながら国際交流を図っている。今後は小学生だけでなく、中学生も対象とした事業について検討していきたい。 【担当：教育総務課】
(2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	評価結果<順調>
②A L Tを配置した取組は小中学校で定着し、英語（ネイティブな発音）によるコミュニケーション能力と国際理解が進んでいると感じる。今後も充実した配置に取り組んでいただきたい。（語学指導外国青年招致事業） ③子どもたちの健やかな成長のために栄養バランスのとれた学校給食の提供や健康管理ができていることについて評価できる。今後は新学校給食センターの建設により、これまで以上に見える形で地産地消を推進するため関係団体と連携を図るとともに、郷土料理等を取り入れた献立を作成するなど、郷土への愛着が持てる食育活動に努められたい。（宇和学校給食センター運営事業、学校給食庶務事業）	②小学校の再編が進み、学校数は減ったが、A L Tの数は減らさず、学校への訪問回数を増やすなど、外国語活動の充実を図っている。これは、平成 32 年度完全実施の新学習指導要領で小学校の英語が教科化されることも踏まえた取組である。 【担当：学校教育課】 ③平成 29 年度の新学校給食センター稼働時には、2名の学校栄養士が配置されるため、地産地消等食育活動の推進にも積極的に取り組むたい。 【担当：学校教育課】

(3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進	評価結果<順調>
④児童生徒の保護者、学校ニーズにあった生活支援員の配置ができており評価できる。学習支援員の配置については、財政上の問題もあるが学校現場と教育委員会が連携して実施につなげていただきたい。(小学校、中学校生活支援員設置事業)	④平成 28 年 4 月に障害者差別解消法が施行され、合理的配慮を可能な限り提供することが求められるようになっている。そこで、学校現場、保護者等のニーズに対応できるように配慮していきたい。学習支援員の配置については、学校ニーズを見極め慎重に行っていききたい。 【担当：学校教育課】
(4) 安全・安心な学校づくりの推進	評価結果<順調>
⑤近年、全国的に児童生徒に対する事件が発生している。市内において発生する事案等について速やかな情報発信とともに、学校と地域が連携した取組ができるよう努められたい。(不審者情報メール発信事業) ⑥児童生徒の登下校時に交通事故等も発生しており、各関係機関と連携を取りながら、安全確保に努められたい。(学校安全体制整備推進事業)	⑤児童生徒の安全を確保するために見守り隊、青色パトロール等、地域ぐるみで取り組んでいただいている。また、児童生徒の安全を脅かす問題が発生したときは、不審者メール配信サービスを有効に活用している。今後もこのサービスを継続していきたい。 【担当：学校教育課】 ⑥平成 27 年度から大洲河川国道事務所、西予土木事務所、西予警察署、西予市建設課の協力を得て、西予市通学安全対策プログラムを実施している。通学路の安全確保には、とても有効な取組なので、今後も継続していきたい。 【担当：学校教育課】
(7) よりよい教育環境づくりの実現	評価結果<概ね順調>
⑦小学校再編による大規模な学校施設整備が完了し、教育環境を確保できたことを評価できる。今後も、児童生徒が安全・安心に過ごせる学校施設となるよう施設修繕、整備に努められたい。(小学校、中学校施設修繕事業) ⑧城川地域の統合が完了したことを評価できる。今後は、宇和地域で理解を深めていただくため保護者、地域住民、PTA等に引き続き十分な説明をして進められたい。(学校再編推進事業) ⑨遠距離通学となる児童生徒の通学に供するため、また、校外学習や各種教育活動等、よりよい教育環境の整備を目的に 19 台のスクールバスが運行されており、有効活用及び安全に運行できていることを評価できる。今後も安全運行に取り組んでいただきたい。(スクールバス維持管理事業) ⑩ICT環境整備について、市内小中学校に校務用パソコンの導入や普通教室にタブレット、電子黒板等を整備され充実した教育環境を整えられていることを評価できる。今後も、学校、教職員へのサポート体制を継続していただきたい。(小学校、中学校情報教育振興事業)	⑦宇和地域の小学校や市内中学校施設では、老朽化が進んでいる施設も多く、年 1 回の施設点検を実施し、危険個所の有無及び劣化状況の確認を行っている。 学校再編に伴い整備した学校施設も含め、施設改修の年次計画を策定し、安全・安心な学校施設となるよう計画的な施設修繕、整備に努めていきたい。 【担当：教育総務課】 ⑧⑨平成 28 年度において、宇和地域を除く市内各地域の小学校再編が完了し、また平成 29 年 4 月からは西予市立明間小学校が西予市立皆田小学校へ統合となることで、市内における複式学級は解消(地理的状况から再編対象でない惣川小学校と大野ヶ原小学校を除く。)され、教育環境の整備が図れることとなる。 宇和地域においても、今後は児童数

	の減少傾向が続くと予想されることから、よりよい教育環境を整えていくため、保護者（未就学児童含む）だけでなく地域住民への説明会を開催し、西予市小学校再編計画への理解を深めていきたい。 児童の安全・安心な通学に供することはもちろん、子どもたちの様々な活動等に有効活用できるようスクールバスの管理及び運営に取り組んでいきたい。 【担当：教育総務課】 ⑩国の教育のＩＴ化に向けた環境整備４ヵ年計画(平成26年度～平成29年度)に基づき、ＩＣＴ環境整備を進めているところであり、無線ＬＡＮで稼動するタブレット等も順次導入していく予定である。また、タブレット等の導入で、情報教育アシスタントの重要性が増してくるので、今後も継続して配置していきたい。 【担当：学校教育課】
２ ライフステージに応じた社会教育の推進	
(2) 公民館活動の推進	評価結果＜概ね順調＞
①公民館は各地区における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれで特色ある取組が実施されている。公民館に求められる役割は大きく変化しており、地域によっては社会教育の域を超えて、地域づくりに積極的に関与することも求められるようになった。今後も地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的な参画に努められたい。(公民館各種イベント、講座事業) ②公民館は耐震化できていない施設も多くあるため、住民が安全・安心に施設を利用できるように、整備計画を立て緊急性の高いものから整備に取り組んでいただきたい。(公民館耐震化事業)	①公民館は地域住民の活動拠点となっており、地域の実情に即した事業を計画的に取り組んでいる。今後も、住民一人ひとりが生活や地域課題の解決に参画できるよう積極的に推進していきたい。 【担当：生涯学習課】 ②公民館は社会教育推進の施設という位置付けであると同時に、地域住民にとって一番身近な行政機関となっている。このため、住民が安全・安心に施設を利用できるよう耐震化については、「西予市公共施設耐震化計画」に基づき、耐震診断・補強設計及び耐震化工事を計画的に進めていきたい。 【担当：生涯学習課】
(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	評価結果＜概ね順調＞
③青少年関係機関、団体等の間で、いじめや非行状況などの問題解決に向け情報交換や協議を行うことで、いじめや非行の未然防止につながっている。また、市青少年育成協議会が中心となり、市民総ぐるみで「あいさつ運動」を展開している取組を評価できる。青少年を取り巻く環境は年々変化しており、特にインターネットや携帯電話の利用等について指導に取り	③青少年育成協議会では、引き続き「あいさつ運動」を推進していく。また、幅広い機関が所属していることを生かし、“地域全体で”青少年を見守り、育てるという意識をより一層醸成していきたい。 青少年補導センターでも、近年

組んでいただきたい。(青少年補導センター運営事業)	のインターネットや携帯電話利用に関する問題を懸念しており、学校、PTA、警察等と連携し、最新情報の収集や研修等に努めていきたい。 【担当：生涯学習課】
(4) 人権・同和教育の推進 ④人権意識を高め、人権問題への関心を深めるため、市内3か所(宇和、野村、城川地域)で「西予市人権のつどい」を開催している。対象者は、行政、団体、企業関係者等を中心に全住民とし、講演会を開催している。宇和会場のアンケート結果、「人権に対する思いの深まり」では、「深まった」が63.1%、「今後も行いうべきか」では、「行いうべき」が90.3%であり、人権意識を高める効果的な取組となっていることを評価できる。しかし、現在の開催は旧町時代の事業を継続しているにすぎず、他の2地域はどうなのかという問題もある。このため事業を一本化するなど、新しい切り口でこの事業の見直しに努められたい。(人権のつどい事業) ⑤市内各地で開催している地区別人権教育懇談会の開催回数は、目標値を達成しており取組を評価できる。小集落での開催は大切なことだと感じているが、ずっと同じスタイルでの開催であり参加者の固定化などの課題もある。このため、学習会の開催を何かの行事と重ねるなど工夫して参加者の増加につながるよう努められたい。(地区別人権教育懇談会事業)	評価結果<概ね順調> ④今後の取組について、明浜、三瓶地域でも開催できるように協議していく必要があるが、一本化した事業としての開催か、各地域において別々の開催か協議を進めていきたい。 【担当：生涯学習課】 ⑤開催にあたっては、指導者の育成に努めるとともに資料・教材におけるポイントの整理及び啓発の工夫を行い、より多くの住民が参加できるような学習会の開催に努めていきたい。 【担当：生涯学習課】
(5) 図書館活動の充実 ⑥平成26年度の図書貸出し人数は約38,800人、27年度は約37,900人で900人減少している。図書貸出し人数は減少しているが来館者は増えている状況である。これは本を借りる以外の目的で図書館を訪れる人が増えているようなので、利用者からの要求に対応できるように業務の改善に努められたい。(図書館電算システム管理事業)	評価結果<概ね順調> ⑥図書館電算システムの導入により所蔵図書の検索が容易になったため、利用者のインターネット予約が増えている。 また、レファレンスサービスも、窓口の端末での検索が可能になったことで気軽に蔵書の有無を問われるようになった。今後もシステムの利便性を利用者に説明し、図書館利用者数の増加に向けシステムの利用促進に努めていきたい。 【担当：市民図書館】
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用 ①市指定文化財の調査や修理について、専門家の協力を得ながら引き続き努められたい。また、所蔵する文化財の展示スペースがないため、空いている公共施設を利用するなど確保に努められたい。茶堂は市の貴重な文化財であり茅葺の形で残していく必要がある。しかし、県内に茅葺職人が少ないため、県外の職人に葺き替えを依頼している現状がある。このため、茶堂文	評価結果<順調> ①平成26年度から実施している市指定文化財の見直しを図るとともに補助制度を見直し、今後の文化財保護の基盤を確立させていきたい。 また、「古代ロマンの里構想」にも掲げている展示施設については、使用されなくなった公共施設の有

化を残す考えで、市の将来のビジョンを描いて人材育成を通して保存活動に取り組んでいただきたい。(文化財保護推進事業) ②県指定、市指定無形文化財の継承に支援をされており評価できる。今後も文化財の継承のため、引き続き支援に努められたい。(俵津文楽育成事業、渡江盆踊り保存事業、朝日文楽保存伝承活動事業)	効活用を考慮し、方向性を見いだしたい。 茶堂の修理、維持管理等に係る経費の負担軽減を通じて、茅葺茶堂をはじめとする建造物を保護するために、西予市茶堂整備事業費補助金交付要綱の見直しを行った。 茅葺職人の育成については、全国茅葺きネットワークや茅葺屋根の研究者あるいは中四国在住の茅葺職人と連携し、茅などの資材の確保、茅葺保存を行うことで、新たな地域産業等の検討を地方創生に向けた課題としたい。 【担当：文化体育振興課】 ②指定無形文化財の継承事業は、学社連携による事業の取組を推進し、後継者の育成・支援に努めたい。 【担当：文化体育振興課】
(2) 文化の振興 ③夏休み期間中に開催した大島青松園訪問事業に小学生3人、中学生14人を含む市民47人が参加し、入所者の体験談や現在も入所中である西予市出身者と交流ができたことについて、新たな取組として評価できる。次年度以降も継続して取り組んでいただきたい。(塔和子顕彰事業) ④平成26年度の課題を解消するため新たに体験教室を実施し、参加者が増えたことなど文化振興につながっていると感じる。今後も来場者を増やす取組や文化団体との交流に努めていただきたい。(ふるさと芸能祭補助事業)	評価結果<概ね順調> ③西予市出身の詩人 塔和子さんを偲び、大島青松園において力強く生き抜いた人々から学ぶことにより、詩やその生き方を次の世代へ継承するとともに、人権・同和教育推進の一環とした事業として引き続き取り組んでいきたい。 【担当：生涯学習課】 ④実行委員会形式を導入したことにより、委員会の主体的運営や体験事業（フォークダンス・フラダンス等）を実施したことで、観るだけの芸術文化活動から体験活動につながった。今後、芸能発表における地域間交流など、内容を充実させる取組を検討していきたい。 【担当：文化体育振興課】
(3) 文化活動の環境と基盤の整備 ⑤市内の文化施設の老朽化が進むなか、改修を順次実施されており、利用者の利便性向上に努めていることを評価できる。今後も住民に安全・安心に利用してもらえるよう計画的に優先順位をつけるなどして改修に努められたい。(宇和文化会館管理運営事業・三瓶文化会館管理運営事業)	評価結果<順調> ⑤市内の文化施設の改修等においては、利用者の利便性を考慮し、更新計画のもと緊急性の高いものから実施するとともに、必要に応じて施設の整理統合を図っていきたい。また、文化施設の運営に必要な人材を確保し体制を整備していきたい。 【担当：文化体育振興課】

(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	評価結果＜概ね順調＞
⑥歴史の道調査を共に行っている八幡浜市と共催で「駅からウォーク」を開催するなど、「古代ロマンの里整備活用基本計画」に基づき構想を推進されており評価できる。引き続き西予市の特色ある文化施策として取り組んでいただきたい。(古代ロマンの里推進事業) ⑦(仮称)「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」を、国の重要文化的景観の選定に向け、西予市文化的景観調査委員会を設置し、調査実施等の取組を評価できる。(文化的景観保護推進事業)	⑥古代ロマン里構想、町並み保存など、各計画に基づき取り組むとともに関係機関と連携し、今後も特色のある文化施策としたい。また、ジオパーク関連事業と連携し、文化財やジオサイトの調査研究を大学や博物館等とも進め、学術的知見に基づく新たな成果を継起的に獲得し、地域の魅力の向上に努めるとともに地域に愛着が持てるよう活用していきたい。 【担当：文化体育振興課】 ⑦(仮称)「狩浜の段々畑と宇和海の文化的景観」国選定に向け、西予市文化的景観調査委員会が主体となり、景観に関する学術調査、調査報告書の作成、保存計画書・景観計画書の作成など、スケジュールに基づき引き続き推進していきたい。 【担当：文化体育振興課】
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの振興	評価結果＜概ね順調＞
①総合型地域スポーツクラブ活動の支援をされており評価できる。しかし、地域の事情により設立できないところもある。今後も健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制に努められたい。また、クラブ活動を充実させるために、体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携を図り、スポーツに親しむ市民の増加に努められたい。(総合型スポーツクラブ補助事業) ②県内大会予選を経て、インターハイ・国体等の出場選手が近年増加しており、その選手へ支援されている取組を評価できる。引き続き支援していただきたい。(全国大会出場選手支援事業) ③脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を学ぶ教室を野村会場で3回開催され、親子やジュニア指導者等が体験しながら学ぶ取組を評価できる。引き続きスポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体のPR活動に努められたい。(スポーツ教室開催事業)	①総合型地域スポーツクラブの設立及び支援については、体育協会及びスポーツ推進員と連携したなかで、地域の特色のある活動を推進していきたい。また、スポーツクラブが独自に行う事業に対する支援を検討していきたい。 【担当：文化体育振興課】 ②2017 愛顔つなぐえひめ国体の開催が好影響に繋がり、インターハイ・国体等への出場選手も増加傾向となっている。今後も、西予市代表として活躍する選手に対し支援・顕彰することで、地域社会の活力向上と競技スポーツの振興に努めていきたい。 【担当：文化体育振興課】 ③教育機関と連携し、開催時期・場所を調整し参加機会の場を提供するとともに、国体のPRに努めたい。 【担当：文化体育振興課】

(2) えひめ国体の推進	評価結果＜概ね順調＞
④2015 わかやま国体には野村高校相撲部から4人の選手が出場し、団体5位入賞・個人準優勝の好成績を収めたことは、これまでの強化支援に努めた結果と評価できる。2017 えひめ国体でも好成績につながるよう引き続き支援に努められたい。(愛媛国体相撲強化支援事業) ⑤2017 えひめ国体まで1年を切り施設の整備や競技役員育成など、引き続き支援に努められたい。えひめ国体は西予市挙げての取組となるため、住民と連携し万全の体制で望んでいただきたい。(愛媛国体施設整備事業・愛媛国体競技役員等養成事業)	④愛媛県立野村高等学校相撲部が強化推進指定校となっていることから、補助金を増額(国体当年度まで限定)し、引き続き支援していきたい。 【担当：文化体育振興課（国民体育大会推進室）】 ⑤市内開催種目2競技の競技役員も養成できたことから、競技役員として各団体に国・県レベルの大会への参加要請を依頼するなど、技術レベルの向上に努めたい。 また、国体開催競技会場となる施設整備が平成28年7月のリハーサル大会までに完了した。リハーサル大会の経験(競技運営等)を活かし、えひめ国体西予市開催に向け、市民総参加「チームせいよ」として取り組めるよう引き続き推進していきたい。 なお、相撲競技開催に係る民泊受入地区(47チームの受け入れ)も決定したことから、全国からお越しいただく皆様方を「おもてなしの心」でお迎えできるよう、気運の醸成に努めていきたい。 【担当：文化体育振興課（国民体育大会推進室）】

Ⅱ 西予市教育振興基本計画（平成 26 年 3 月策定）について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、幼児・児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

○基本目標：夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実 ②学校と家庭、地域との連携 ③ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	①道徳の時間の充実 ②互いの関わりを大切に集団活動の充実 ③いじめ根絶に向けた取組の充実 ④情報モラル教育の充実 ⑤家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	①体力の維持・向上 ②基本的生活習慣の定着 ③地産地消による食育の推進
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	①特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の充実	①個に応じた支援の充実 ②生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	①人権・同和教育の充実 ②いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	①防災教育の推進 ②学校や地域の安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②研修活動の充実 ③学校組織の活性化
	(9) 幼稚園教育の充実	①充実した幼児教育の提供 ②子育て支援の充実
	(10) よりよい教育環境づくりの実現	①公立学校の再編推進 ②放課後の子育て支援 ③校舎の改築及びICT設備の整備等 ④小中一貫教育の検討

○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体の育成と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の推進	①読書活動の普及啓発 ②図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承、次世代を担う人材の育成 ②文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	①古代ローマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) えひめ国体の推進	①競技スポーツの振興と人材育成 ②関係施設の整備・充実

Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）	
第 26 条	教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2	教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象、実施期間

(1) 点検・評価の対象

- ・平成 28 年度における教育委員会の活動状況
- ・平成 28 年度における教育委員会の取組施策

(2) 点検・評価の実施期間

平成 30 年 1 月～3 月

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

(2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者 3 名から評価会議で意見を伺います。

氏 名	団体・役職名
大野 哲寛	元小学校長
兵頭 三樹	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

4 自己点検・評価の構成

(1) 施策の評価（A 表）

「施策の体系」の表に示した 21 の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表 1 の区分により総合的に評価します。

(表 1)

順	調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順	調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価（B表）

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

（記入項目）

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額（千円）	平成28年度の決算額（事業の総額）※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析（C表）

成果指標の評価は、21の施策の中で設定した14の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表 2)

A：達成に向けて予定どおり進行している
B：達成に向けて概ね予定どおり進行している
C：達成に向けて予定よりやや遅れている
D：達成に向けて予定より遅れている

（記入項目）

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	平成28年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成24年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする平成30年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における平成28年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

IV 点検・評価結果

IV－1 教育委員会の活動状況

1 教育長及び委員任命状況

(平成28年6月10日現在)

職	氏 名	性別	職業	任 期	通算在 任年数	役職任期	常勤・非 常勤の別
教 育 長	保木 俊司	男	公務員	H28.6.10 H31.6.9	0		常 勤
職務代理者 教育長	平岡 長治	男	無職	H25.6.10 H29.6.9	3	H28.6.10 ～ H29.6.9	非常勤
委 員	上甲 和博	男	無職	H26.6.10 H30.6.9	2		非常勤
委 員	山本 恵子	女	無職	H27.6.10 H31.6.9	1		非常勤
委 員	樋口 美和	女	会社員	H28.6.10 H32.6.9	0		非常勤

※教育長の任期は3年間

※教育委員の任期は4年間

※教育長職務代理者の任期は1年

2 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

定例会	12 回
臨時会	2 回
案 件	69 件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
4月19日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市宇和文化の里条例の一部を改正する条例制定について
	西予市生徒海外派遣業務委託事業者選定委員会設置要綱制定について
	西予市電話教育相談室設置要綱の一部を改正する訓令制定について
	西予市電話教育相談室設置要綱制定について
	西予市スポーツ推進員の委嘱について
	西予市生徒海外派遣業務委託事業者選定委員会委員の委嘱及び任命について
	西予市三瓶文化会館運営委員会委員の委嘱について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
	教育財産の取得の申出について（文化体育振興課）
	教育財産の取得の申出について（教育総務課）
5月20日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市営球場条例の一部を改正する条例制定について
	西予市学校事務の新規採用職員インストラクター設置要綱を制定する訓令制定について
	せいよ家庭教育・子育て応援グループ員の委嘱及び任命について
	西予市公民館分館長の任命について
	西予市公民館分館主事の任命について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱について
	西予市図書館協議会委員の任命について
6月10日 臨時会	西予市教育委員会教育長職務代理者の指名について
6月30日 定例会	西予市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示制定について
	西予市子ども教育振興基金の活用に係る取扱要綱の訓令制定について
	西予市社会教育委員の委嘱及び任命について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
	西予市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱及び任命について
	西予市立学校給食支部運営委員会委員の委嘱及び任命について
	西予市三瓶文化会館運営委員会委員の委嘱について
	西予市明浜歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱及び任命について
7月25日 定例会	西予市公立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
	西予市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示制定について
	西予市放課後子どもプラン運営委員会委員の委嘱及び任命について
8月26日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市立学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定について
	西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について
9月23日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市宇和文化の里条例施行規則の一部を改正する規則制定について
10月28日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市立学校給食センター及び学校給食調理場条例の一部を改正する条例制定について
	西予市教育委員会通学区域規則の一部を改正する規則制定について
	西予市学校事務の共同実地組織に関する規程の一部を改正する訓令制定について

11月28日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
12月22日 定例会	西予市朝日文楽会館建設準備委員会設置要綱を廃止する告示制定について
	西予市いじめ問題調査委員会設置要綱の告示制定について
	西予市公民館長の任命について
1月26日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市立学校給食運営委員会及び支部運営委員会規則の一部を改正する規則制定について
	西予市社会複合施設整備検討委員会設置要綱制定について
	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
2月21日 定例会	平成28年度西予市要保護・準要保護児童生徒の専決処分の承認について
	西予市教職員宿舍条例の一部を改正する条例制定について
	西予市スクールバス運行及び利用に関する規則の一部を改正する規則制定について
	ギャラリーしろかわ運営審議会規則の一部を改正する規則制定について
	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
3月9日 臨時会	西予市教職員宿舍条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市学校事務の共同実施組織に関する規程の一部を改正する訓令制定について
3月22日 定例会	西予市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会表彰規則制定について
	西予市私立幼稚園運営費補助金交付要綱を廃止する告示制定について
	西予市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する告示制定について
	西予市検定受検料補助金交付要綱の告示制定について
	西予市教職員表彰規程及び西予市児童生徒表彰規程を廃止する訓令制定について
	西予市要保護及び準要保護児童生徒認定基準の一部を改正する訓令制定について
	西予市三瓶文化会館運営委員会委員の委嘱について
	西予市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	西予市青少年補導員の委嘱について
	西予市公民館長の任命について
	西予市民図書館長の任命について

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

・平成28年度 傍聴人 なし

3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問、小学校再編計画の地域別推進委員会など各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ①市議会関係・・・・・・・・定例会（４回）、臨時会（２回）
- ②学校訪問・・・・・・・・小学校（16校）、中学校（５校）
- ③各種行事・大会・・・・・・・・126回
- ④その他の行事・・・・・・・・38回

4 主な活動実績一覧

月	教育 委員会 関係	市議会 関係	各種行事・大会	学校訪問	その他
4	定例会 (1)		・市新任式 ・城川小学校開校式 ・市内小学校入学式 (16 校) ・市内中学校入学式 (5 校) ・幼稚園入園式 ・市内県立学校入学式 ・市連合婦人会総会 ・市校長、教頭、共同事務室長合同研修会 ・市所属部会総会 ・県視聴覚教育協会理事会 ・南予教育事務所管内校長研修会 ・市公民館連絡協議会総会 ・県人権教育協議会西予支部総会 ・市青少年補導委員会総会		
5	定例会 (1)	臨時会 (1)	・市育英会理事会 ・朝霧湖マラソン大会 ・管内市町教育委員会連合会総会 ・四国都市教育長連絡協議会総会 ・文化財保護審議会 ・市 P T A 連合会総会 ・市青少年育成協議会定例委員会 ・県視聴覚教育協会総会 ・市内小学校運動会 ・県公立小中学校寄宿舎運営連絡協議会 ・市特別支援教育連絡協議会 ・市スポーツ推進委員協議会総会 ・県市町教育長会議	中川小 宇和町小 多田小 石城小 田之筋小 明間小	
6	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	・市中学校総合体育大会 ・市中学校陸上、水泳大会 ・市教育支援委員会 ・市人権のつどい (宇和・野村会場) ・教育長退任式 ・教育長新任式	皆田小 宇和中 城川中 城川小 三瓶小 明浜小 三瓶中 明浜中 野村小 野村中 惣川小 大野ヶ原小	・市連合婦人会親睦レクバレー大会 ・市愛護班連絡協議会総会

7	定例会 (1)		・市社会教育委員会 ・皆田・明間小学校再編推進委員会 ・県市町教育委員会連合会定期総会 ・各支部小学校水泳記録会 ・市行政連絡員協議会代表者会 ・全国「かまぼこ板の絵」展覧会表彰式 ・市人権のつどい（城川会場） - 愛顔つなぐえひめ国体西予市実行委員会総会 ・第56回全日本実業団女子ソフトボール選手権大会		・「社会を明るくする運動」西予地区出発式 ・市文化協会総会 ・地域婦人教育研修会
8	定例会 (1)		・第1回市総合教育会議 ・生徒国際交流事業（ニュージーランド）結団式、解団式 ・旧開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業 ・児童平和学習おイネさん交流事業 ・第55回全国教職員相撲選手権大会兼愛顔つなぐえひめ国体リハーサル大会 ・市校長会研修会 ・西予市立皆田・明間小学校再編推進委員会, 統合調印式 ・市要保護児童対策地域協議会代表者会議		・トップと語る会 ・県総合防災訓練イン西予
9	定例会 (1)	定例会 (1)	・市内中学校運動会（5校） ・市内小学校運動会（13校） ・市中学校長連絡会		・市職員採用面接
10	定例会 (1)		・城川オリンピック ・市内中学校新人体育大会 ・市内小学校陸上記録会 ・市校長会 ・県視聴覚教育研究大会 ・市教育研究大会 ・県公民館研究大会 ・市政懇談会 ・「えひめ教育の日」推進大会		・国際交流の夕べ ・市組織検討委員会 ・市職員採用面接 ・せいよこどもグッズまつり 2016 ・小中一貫教育全国サミット
11	定例会 (1)	臨時会 (1)	・宮中雲子音楽祭 ・県小中学校長研究大会 ・県文楽合同公演大会 ・乙亥大相撲 ・市福祉大会 ・市人づくりを考える会、市PTA大会 ・愛媛県青少年育成協議会発足50周年記念大会 ・県人権、同和教育研究大会 ・市内小中学校音楽発表会 ・市政懇談会 ・全国人権・同和教育研究大会 ・学校再編地区説明会		・市職員採用選考会 ・西予市戦没者追悼式

12	定例会 (1)	定例会 (1)	・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・皆田・明間小学校再編推進委員会 ・市駅伝競走大会 ・市校長会研修会 ・市教育支援委員会 ・市政懇談会 ・学校再編地区説明会		・お伊ネ賞表彰式 ・市仕事納め式
1	定例会 (1)	臨時会 (1)	・市成人式 ・管内市町教育長会議 ・市歴史文化講演会 ・南予管内教育委員研修会 ・各町駅伝競走大会 ・市政懇談会 ・第2回市総合教育会議		・市仕事始め式
2	定例会 (1)		・市校長会 ・市青少年育成協議会 ・各町駅伝競走大会 ・市歴史文化講演会 ・市政懇談会 ・管内市町社会教育課長等会 ・学校体育会理事会		・市消防出初め式 ・女性のつどい
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	・市内県立学校卒業式 ・市内中学校卒業式(5校) ・市内小学校卒業式(16校) ・市内公立幼稚園卒園式(2園) ・市社会教育委員会 ・皆田・明間小学校再編推進委員会 ・明間小学校閉校記念式典 ・市校長会懇談会 ・市歴史文化講演会 ・せいよ西学校給食センター落成式		・市臨時部長会 ・退任式
合計	臨時会 (2) 定例会 (12)	臨時会 (4) 定例会 (4)	126 回	小学校 (16) 中学校 (5)	38 回

Ⅳ－２ 施策別の点検・評価結果

１ 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況
１ 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(１) 確かな学力の育成	順調	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
			②学校と家庭、地域との連携		
			③ＩＣＴの活用と情報教育の推進	・ＩＴを活用した授業の割合	A
	(２) 豊かな心の育成	概ね順調	①道徳の時間の充実		
			②互いの関わりを大切にした集団活動の充実		
			③いじめ根絶に向けた取組の充実		
			④情報モラル教育の充実		
			⑤家庭や地域と連携した活動の充実		
	(３) 健やかな体の育成	概ね順調	①体力の維持・向上		
			②基本的生活習慣の定着		
			③地産地消による食育の推進		
	(４) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	①特色ある学校づくりの推進		
	(５) 特別支援教育の充実	順調	①個に応じた支援の充実		
			②生活支援員の配置		
	(６) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①人権・同和教育の充実		
			②いじめや不登校への対応		
	(７) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①防災教育の推進		
			②学校や地域の安全確保の推進		
	(８) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	①市所属部会、市教育研究大会の充実		
			②研修活動の充実		
			③学校組織の活性化		
	(９) 幼稚園教育の充実	概ね順調	①充実した幼児教育の提供		
			②子育て支援の充実		
	(１０) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	①公立学校の再編推進		
			②放課後の子育て支援		
			③校舎の改築及びＩＣＴ設備の整備等	・耐震化率	A
			④小中一貫教育の検討		
２ ライフステージに応じた社会教育の推進	(１) 生涯学習の推進	概ね順調	①生涯を通じた多様な学習機会の提供		
	(２) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催回数	B
			②社会教育関係団体の育成と連携		
			③西予市結婚推進委員会の取組		
	(３) 心豊かでたくましい青少年の育成	概ね順調	①青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数	A
				・移動補導センター回数	A
			②家庭、地域の教育力の向上		
			③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進		
	(４) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①学習機会の拡充と啓発活動の充実	・人権・同和教育に関する講座等の開催	B
			②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成	・地区別人権・同和教育懇談会開催回数	B
			③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実		
	(５) 図書館活動の推進	概ね順調	①読書活動の普及啓発	・利用者数（図書を借りた人数）	B
			②図書館サービスの充実	・利用者数（図書を借りた人数）	B
３ 人生を豊かにする文化芸術の振興	(１) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・文化財を見に行ったことのある人の割合	A
			②文化財の継承と次世代を担う人材の育成	・文化財を見に行ったことのある人の割合	A
	(２) 文化の振興	概ね順調	①文化の継承、次世代を担う人材の育成		
			②文化芸術、生活文化の振興	・芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合	B
	(３) 文化活動の環境と基盤の整備	順調	①文化施設の整備・充実	・施設や展示物の満足度	A
	(４) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	①古代ロマンの里構想の推進	・古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合	B
			②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進		
			③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進		
			④文化的景観保護推進事業の推進		
４ 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(１) スポーツの普及・推進	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援	・市民の週１回以上のスポーツ人口率	A
			②スポーツ施設の整備・充実		
	(２) えひめ国体の推進	概ね順調	①競技スポーツの振興と人材育成		
			②関係施設の整備・充実	・国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数）	B

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

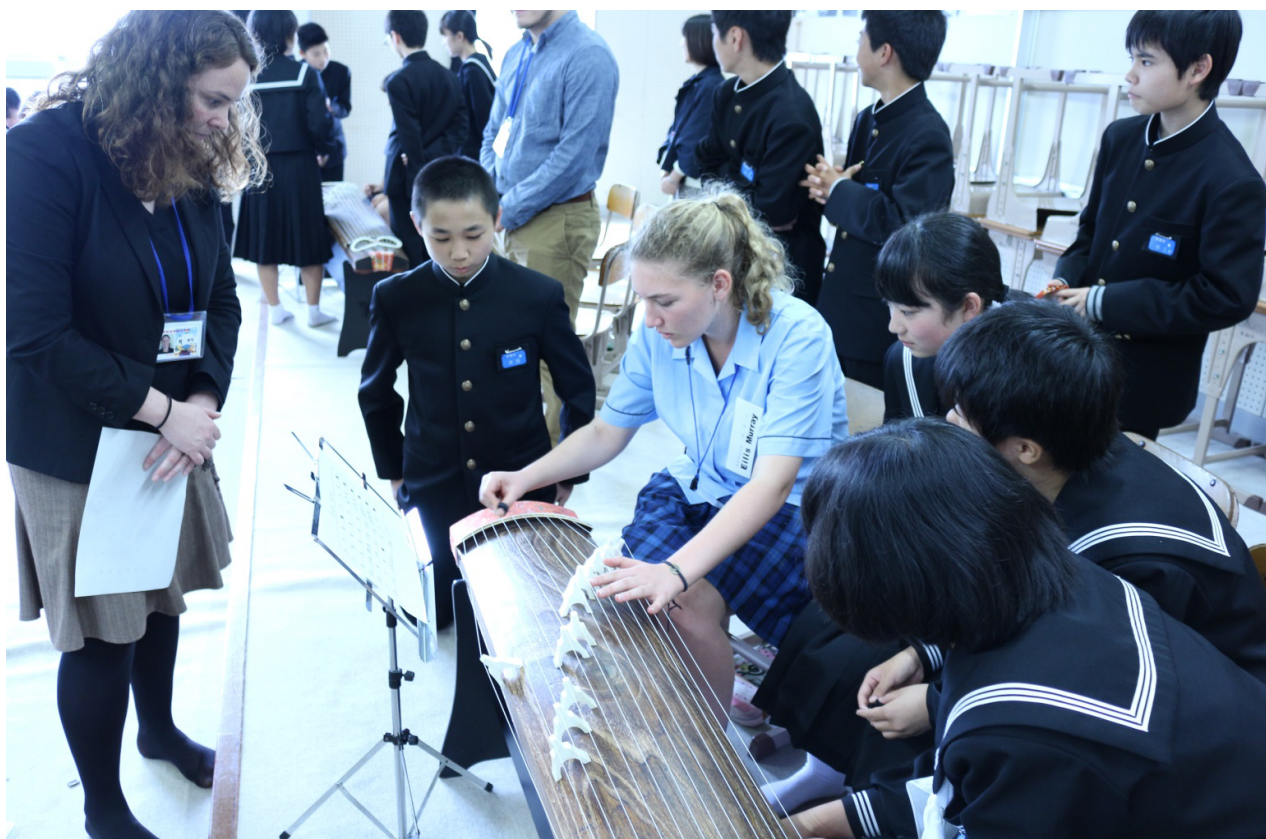
施策	(1) 確かな学力の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	学力向上推進計画に基づき確かな学力の育成に取り組んでいる。 国際化の進む現代において、A L Tの授業参画による英語授業だけではなく、英語圏の国で研修を行うことにより英語力の基礎を習得し、確かな学力の育成となっている。 I C T関連機器の設備の充実については、既存情報機器を維持しつつ普通教室へのI C T環境整備範囲を拡大したことで、コンピューター教室のほか普通教室でも順調にI C T活用が行われるようになった。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
生徒国際交流事業	【事業内容】 国際化時代にふさわしい人材を育成するため、生徒をニュージーランドへ派遣する。派遣までに事前説明会・事前研修を実施して、ホームステイの予備知識、研修目的などの徹底を図る。派遣先ではホームステイをしながら、語学学校への短期入学や現地学校に2日間訪問し、体験授業などを行う。そのほか、タラデールハイスクールの生徒が西予市を訪れ、市内中学校訪問交流・ホームステイ受入により相互交流を行った。 【実績】 4/21～4/24（4日間）ニュージーランドからタラデールハイスクール生徒・引率教諭13人が来市、ホームステイ受入。 8/1～8/12（12日間）市内の中学3年生13人を選考し（作文・面接等で意欲を確認）ニュージーランドへ派遣した。 【評価と今後の課題・対応方向】 ホームステイ受入による中学校訪問交流により、海外派遣事業よりも多くの生徒が事業に関わることができた。海外派遣生徒は参加したことで自己表現力や協調性、英語理解力の面で向上が見られた。国際感覚と広い視野を持った次代を担う人材（リーダー）に育つことが期待できる。西予市代表として参加する生徒の目的意識や意欲をより向上させる必要がある。	7,828	教育総務課

市内中学校で交流授業



タラデールで日本文化披露



(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
語学指導外国 青年招致事業	【事業内容】 J E Tプログラム関係指導者：4名と嘱託外国人指導者：1名が、担当校において、外国語活動や英語授業にティームティーチングとして、補助指導者となり、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。 【実績】 平成28年度は、A L Tが関わる授業が楽しいと感じた児童が96.9%（前年度比4.7%アップ）（調査対象小5）、英語によるコミュニケーション能力が向上したと感じた生徒が、43.0%（前年度比8.8%ダウン）（調査対象中2）という結果であった。児童の国際理解や外国語に対する興味・関心は高まり、生徒のヒヤリング力やネイティブな発音をする力が向上してきたと推測するが、生徒の自己評価は低かった。 【評価と今後の課題・対応方向】 各学校におけるALTが関わる授業数の充実が図られてきた。今後、小学校における外国語の教科化、外国語活動の3、4年生実施が予定される中、授業内容の充実とALTが関わる授業数の増加を検討しないといけない。現在の体制を維持しながら、外国語教育の充実に取り組むため、勤務計画を更に工夫していきたい。	22,555	学校教育課

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定あり（ICTを活用した授業の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
小学校情報教育 振興事業	【事業内容】 西予市立小学校13校において、現状整備している教育用ICT環境を維持する。 また普通教室及び特別支援教室に対してタブレット・電子黒板機能付きプロジェクター・実物投影機を各1台（特別支援教室等1教室5名以下の教室については小規模学級となるため実物投影機については整備除外）を整備する。 【実績】 西予市立小学校12校（明間小学校については皆田小学校に統合されるため除外）の普通教室及び特別支援教室にタブレット・電子黒板機能付きプロジェクター・実物投影機を各1台（特別支援教室等1教室5名以下の教室については小規模学級となるため実物投影機については整備除外）を整備した。 【評価と今後の課題・対応方向】 普通教室（特別支援教室含む）に情報機器を導入したことにより、普通教室における情報教育環境が向上した。今後は特別教室へのI C T環境整備や児童用タブレットの整備に向けて事務処理を行うほか、教職員に対して機器活用研修を行うなど、I C Tを活用したよりよい教育活動について模索、推進していきたい。	15,974	学校教育課

(B表)

事務事業等	③ ICTの活用と情報教育の推進		
成果指標	設定あり (ICTを活用した授業の割合)		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
中学校情報教育振興事業	【事業内容】 西予市立中学校5校において、現状整備している教育用ICT環境を維持する。 また普通教室及び特別支援教室に対してタブレット・電子黒板機能付きプロジェクター・実物投影機を各1台（特別支援教室等1教室5名以下の教室については小規模学級となるため実物投影機については整備除外）を整備する。 【実績】 西予市立中学校5校の普通教室及び特別支援教室にタブレット・電子黒板機能付きプロジェクター・実物投影機を各1台（特別支援教室等1教室5名以下の教室については小規模学級となるため実物投影機については整備除外）を整備した。 【評価と今後の課題・対応方向】 普通教室（特別支援教室含む）に情報機器を導入したことにより、普通教室における情報教育環境が向上した。今後は特別教室へのICT環境整備や生徒用タブレットの整備に向けて事務処理を行うほか、教職員に対して機器活用研修を行うなど、ICTを活用したよりよい教育活動について模索、推進していきたい。	13,496	学校教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
ITを活用した授業の割合		6.06%	7.00%	12.46%	6.40%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	普通教室へのICT機器整備により授業にICTを取り入れやすくなったことで、ITを活用した授業の割合が急増したと思われる。今後は、特別教室へのICT環境整備や児童生徒用タブレット整備を進め、さらにITを活用した授業の割合を伸ばしていく。		

(A表)

施策	(3) 健やかな体の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	小中学校を対象に各種大会を開催したり、参加費の一部を補助したりすることにより体力の維持・向上に努めることができた。 安全安心な地域食材を活用した学校給食を提供し、食育を推進できた。 新たに「せいよ西学校給食センター」を建設し、食育推進及び地産地消の拠点施設として位置づけることができた。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 体力の維持・向上		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
小学校各種大会出場補助事業	【事業内容】 各学校からの申請により、県大会については補助金として宿泊費、交通費を各学校へ交付し、市内大会については、バス借上げ料、楽器運搬費などを支出する。 【実績】 8大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳) ・明浜、宇和、野村・城川支部音楽発表会 ・野村・城川支部水泳記録会 ・NHK合唱コンクール ・西予市小学校陸上記録会 ・青少年赤十字愛媛県大会 ・愛媛県小学校陸上記録会 【評価と今後の課題・対応方向】 教育活動の一部であるクラブ活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めた。	1,077	学校教育課

(B表)

事務事業等	① 体力の維持・向上		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
中学校各種大会出場補助事業	【事業内容】 各学校からの申請により、補助金として各種大会に出場する生徒及び引率者の宿泊費、交通費等を各学校へ交付する。 【実績】 11大会の出場に係る費用について支援を行った。 (大会内訳) ・西予市中学校陸上水泳大会 ・南予中学校新人体育大会 ・愛媛県中学校総合体育大会 ・四国中学校総合体育大会 ・愛媛県中学校新人体育大会 ・愛媛県中学校駅伝競走大会 ・全日本アンサンブルコンテスト南予大会 ・全国箏曲コンクール ・全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会 ・RNBこども音楽コンクール ・こども音楽コンクール 【評価と今後の課題・対応方向】 教育活動の一部である部活動等における保護者負担の一部を軽減することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を実施していく必要があるが、大会参加の際には各学校と行程を調整し混乗するなど、より効率的なスケジュールを検討して対象経費の縮減に努めたい。	6,927	学校教育課

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
学校給食庶務事業	【事業内容】 学校給食センターを除いた明浜、野村、城川地区の児童生徒を対象に安全・安心な学校給食の提供を行うとともに、共同給食調理場・単独給食調理場の円滑な運営を行っている。調理場を運営するにあたって必要となる人件費、修繕料、光熱水費、備品購入費、消耗品費等の支出を行う。 【実績】 各給食調理場の円滑な運営と安全・安心な給食の提供を行うことができた。 【評価と今後の課題・対応方向】 児童生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。今後は新学校給食センターとの連携により、郷土への愛着が持てる食育活動に努めたい。	74,671	教育総務課・学校教育課

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
宇和学校給食センター建設事業	【事業内容】 老朽化した宇和学校給食センターを新たに整備し、徹底した衛生管理を行い安心・安全な学校給食を安定的に提供する。 【実績】 新たに「せいよ西学校給食センター」を建設した。 敷地面積：5,765㎡ 床面積：1階1,441.50㎡ 2階497.57㎡ 延べ床面積1,939.07㎡ 構 造：鉄骨造2階建て 付帯建築物：配送車庫、消火ポンプ室 【評価と今後の課題・対応方向】 徹底した衛生管理を実施するため、汚染区域・非汚染区域を明確に分け、学校給食衛生管理基準等を遵守した施設を整備した。児童生徒の成長に欠かせない学校給食の提供を安心・安全にかつ安定的に提供することで健やかな体の育成に寄与することができた。 新学校給食センターには、見学スペースや調理実習室を整備しており、給食を生きた教材として、食育推進および地産地消の拠点としての活用を図りたい。	976,610	教育総務課

(A表)

施策	(5) 特別支援教育の充実
評価	順調
評価に対する分析	発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが豊かな学校生活を過ごせるよう、西予市内の小・中学校で必要と認める学校に配置し、児童・生徒一人につき生活支援員一人の体制で、各々が充実した学校生活を送れるよう支援している。支援を行うことにより、対象児童・生徒の理解にもつながり、トラブルを事前に回避することで落ち着いた学校生活につながっている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
小学校生活支援員設置事業	【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じたマンツーマンでの支援を行う。 【実績】 市内小学校9校に39人の生活支援員を配置した。平成27年度は41人、平成28年度は48人の児童に支援を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 生活支援員のかかわりが、級友の対象児童理解にもつながり、生活支援員の声かけにより、困り感のある児童の情緒安定につながっている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。 児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声が大きいが、現状を的確に判断し対応していきたい。	62,163	教育総務課

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
中学校生活支援員設置事業	【事業内容】 発達障がい等のある生徒に支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じたマンツーマンでの支援を行う 【実績】 中学校3校に7人の生活支援員を配置した。平成27年度、平成28年度ともに7人の生徒に支援を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 生活支援員のかかわりが、級友の理解にもつながり、教室の移動など生活支援員の声かけにより、スムーズに学校生活を送ることが出来ている。生徒のニーズが多様化する中、保護者の配置希望に的確に対応できるよう取り組んでいきたい。	13,282	教育総務課

(A表)

施策	(6) 人権・同和教育の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	道徳の時間の充実や教育活動全体を通して、互いを認め合い、支え合う仲間意識を育むとともに、人権・同和教育による、差別の根絶に向けての取組を行っている。 いじめや悩み・トラブルについて相談できる電話を設置し、いじめや不登校への早期発見に努めることができた。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価
(B表)

事務事業等	① 人権・同和教育の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
電話教育相談 設置事業	【事業内容】 市内小中学校の児童生徒、また、その保護者を対象として、いじめや校内での悩み・トラブルについての相談を行う。 平日の午前8時30分から午後5時15分まで相談電話に対応する。 【実績】 相談件数は、年間数件であり、利用率は低かった。 誰でも、簡単に、誰にも知られることなく、自分の悩みや困っていることを聞いてもらったりアドバイスしてもらったりする場所があるということは、児童・生徒・保護者にとって、心のよりどころの一つとなり安心感へと結びつくものであり、相談件数は少ないものの、電話相談の必要性は重要視されており、その設置の意義・成果は大きかったといえる。 【評価と今後の課題・対応方向】 いじめ等問題行動の早期発見、早期対応の点から、セーフティネットとしての存在は必要であると考えている。	48	学校教育課

(A表)

施策	(7) 安全・安心な学校づくりの推進
評価	順調
評価に対する分析	不審者情報メール配信サービスについては、各学校を通じて広く周知されていることから保護者の多くが利用しており、不審者事案の即時情報発信のほか台風等自然災害時における休校等の情報提供など、学校や地域の安全確保に広く貢献し続けている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 学校や地域の安全確保の推進		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
不審者情報 メール配信シ ステム	【事業内容】 西予市内で発生する不審者事案について、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して、情報発信を行う。 【実績】 3件の事案について情報提供を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 学校、保護者、地域の安全組織ともに協力して、不審者から園児、児童生徒の安全を確保するためには、即時性のある情報配信は必要不可欠であると考えられ、今後も継続していくことが不可欠である。 昨年度より懸案となっていた現用サービスの廃止が平成30年9月に正式決定されたため、同年同月までに代替サービスへの円滑な移行ができるよう検討準備を進めていきたい。	74	学校教育課

(A表)

施策	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
評価	概ね順調
評価に対する分析	4月当初の市所属部会総会で研究推進の目標を定め、教育活動の中で実践し、10月の市教育研究大会においてその実践を検証したり、授業研究等の研修を行うことによって、教職員の資質・能力の向上を図っている。特に今年度は、整備されたICTを活用した授業実践について研究した事例が多くあった。学力向上に向けた取組が充実してきている。 また、西予市学力向上推進の会においては、教育効果が上がっている学校の実践事例を共有したり、新学習指導要領への移行のための研修をするなど、教職員の指導力向上に努めている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価
(B表)

事務事業等	① 市所属部会、市教育研究大会の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
市教育研究大会実施事業	【事業内容】 市内の小中学校教員が集い、公開授業をおこなったり分科会等で目的を絞った研修を行うことで教員の資質の向上を図る。また、専門部会では最新の情報の共有、課題などに取り組むことにより職務の専門性が高まる。 【実績】 4月に所属部会総会を開催し、教科ごとの研究推進の目標を決める。10月の西予市教育研究大会において、その成果を公開授業で確かめた。 授業参観や分科会を通して、教員同士の情報交換を行うことにより、資質や能力の向上につながった。 【評価と今後の課題・対応方向】 本年度導入したICT機器を活用した授業に取組んだ教科が多く、その成果も上がっている。児童数の減少、教員数の減少により、現在行っている14教科の公開授業が困難になりつつあるので、主要教科は毎年実施、他の教科は隔年とするなどして工夫して取組んでいきたい。	113	学校教育課

(A表)

施策	(9) 幼稚園教育の充実
評価	概ね順調
評価に対する分析	補助金の交付により、幼稚園に通う保護者の負担を軽減することができ、公立・私立間の保育料格差の是正や教育環境の整備により幼稚園教育の充実を図ることができている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 子育て支援の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
私立幼稚園就園奨励費補助金事業	【事業内容】 私立幼稚園に対して、幼児教育の振興を図る観点から、保護者の所得状況に応じた経済的負担軽減のため、補助金を交付している。 幼稚園が該当する保護者の調書を取りまとめて教育委員会に申請する。教育委員会は書類を審査のうえ補助金額を確定し、幼稚園に交付する。 【実績】 私立幼稚園4園(115名)に補助金の交付を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 特に低所得世帯や多子世帯に対して充実した支援を行うことができた。今後も継続して事業を行っていく必要がある。	14,399	学校教育課

(A表)

施策	(10) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に対する分析	西予市小学校再編計画の進展に伴い、遠距離となる児童の通学に供する為、スクールバスを整備し再編後の教育環境整備を図ることができている。また、宇和地区を除いて統合校舎の建設や改修工事が実施できている。今後は、宇和地区全体の再編を進めていくに当たり、統合拠点校となる学校が明確になっていないため、施設の改修または新校舎の建設をどのようにするか、保護者及び地域への説明会を開催しながら意見や要望を取りまとめて協議する必要がある。 学校施設は老朽化が進んでおり、修繕箇所は増加傾向にある。不具合箇所の修繕を実施することにより、安全安心な教育環境を保つことができた。今後、施設の老朽化に伴い大規模な修繕が必要となり、経費の増加が見込まれるが、安全安心な教育環境の整備に努める。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 公立学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
学校再編推進事業	【事業内容】 平成21年度に策定した小学校再編計画に基づき、市内小学校並びに公立幼稚園のよりよい方向性について検討し、子どもたちを取り巻く教育環境を整備する。小規模校における複式学級の解消のため、関係校の統廃合を進める。 【実績】 平成28年4月1日に城川地区4つの小学校（遊子川・土居・高川・魚成小学校）が統合して「城川小学校」が開校した。宇和地区においては、宇和地区で唯一複式学級が生じている明間小学校の教育環境を整備するため、西予市小学校再編計画に基づく皆田小学校との統合に向けて再編推進委員会並びに各専門部会で諸課題の調整に向けて協議を重ねている。 また、宇和地区全体の再編計画推進のため、再編協議を進めている明間・皆田小学校区を除き、保護者を含む地域住民説明会を開催し、子どもたちの教育環境整備について理解を求めた。 【評価と今後の課題・対応方向】 これまでに、三瓶・明浜・野村・城川地区で統合が完了しており、子どもたちの教育環境を整備することができた。 宇和地区では、明間小学校が平成29年4月1日に皆田小学校へ統合となるが、宇和地区全体における今後の再編を推進していくためには、地域住民説明会でいただいた意見をもとにして、どのように取り組んでいくか教育委員会で検討する必要がある。	9,963	教育総務課

(B表)

事務事業等	① 公立学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
スクールバス 維持管理事業	【事業内容】 平成28年度については、西予市立皆田小学校、明間小学校統合に伴い、新たにスクールバス1台が整備され、遠距離通学となる児童の通学に供する為、また、校外学習や各種教育活動等、より良い教育環境の整備を目的に、スクールバスの運行を行った。 【実績】 市所有スクールバス22台、民間車両1台の全23台を運行。 ○明浜小・中:各2台 ○野村小:7台 ○野村中:1台 ○城川小:4台 ○城川中:3台 ○三瓶小・中:各2台 【評価と今後の課題・対応方向】 西予市スクールバスは、遠距離通学の児童生徒の安心安全な通学を確保する事を目的に整備されたものであり、年間を通して適切な運行が行えた事は、教育環境の整備向上に寄与する事ができた。 今後もより良い教育環境の構築に向け、校外学習や各種教育活動に対する利活用を図り教育効果を高める施策を展開していく必要がある。	94,118	教育総務課

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びＩＣＴ設備の整備等		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
小学校施設修繕事業	【事業内容】 市内小学校13校の安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。 【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を55件実施した。 【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全・安心な教育環境の整備に寄与することができた。 小学校施設は学校再編に伴い減少しており、29年度は12校となる予定である。統合拠点校の施設整備は進んでいるが、30年以上経過した施設が多く、老朽化により大規模改修が見込まれる。 施設点検を継続的に実施することにより、安全・安心な教育環境を確保する。また、機能向上も視野に入れた長寿命化を図るとともに、予防保全に努め、トータルコストの削減を図りたい。	11,899	教育総務課

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びＩＣＴ設備の整備等		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
中学校施設修繕事業	【事業内容】 市内中学校5校の安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。 【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を44件実施した。 【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全・安心な教育環境の整備に寄与することができた。 中学校施設は5校の内、3校が30年以上経過しており老朽化が進んでいる。 今後、修繕及び改築に係る費用の増加が見込まれるが、施設点検を継続的に実施することにより、安全・安心な教育環境を確保する。また、機能向上も視野に入れた長寿命化を図るとともに、予防保全に努め、トータルコストの削減を図りたい。	8,505	教育総務課

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びI C T設備の整備等		
成果指標	設定あり（耐震化率）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
小学校施設整備事業	【事業内容】 市内小学校施設の中で、老朽化の進んだ施設を改築し、安全・安心な教育環境を整備する。 【実績】 野村小学校プールの改築を実施した。 ○野村小学校プール改築工事 鉄筋コンクリート造 ステンレス製プール 大プール 25m×15m（7コース） 小プール 15m×10m 【評価と今後の課題・対応方向】 予定通り工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、多くの学校施設が同時期に建築されており、経年劣化による修繕箇所が増加している。長寿命化も視野に入れ、トータルコストを削減できるように検討する。	251,145	教育総務課

(C表)

成果指標		基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減 （B）－（A）
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
耐震化率		86.1%	100.0%	100.0%	13.9%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	小学校の統合により校舎の改築も順調に進んだことにより平成28年度で目標とする100%を達成できた。		

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施策	(1) 生涯学習の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	「生涯学習の構築と魅力ある地域づくり」の実現に向け、社会教育委員会等において各種生涯学習の事業について協議・意見交換を行い、より良く主体的に学習できる場や機会の拡充に努めている。 また、社会教育実態調査において社会教育事業の実施及び社会教育施設の利用が共に微増しており、西予市の人口が減少している中で、活発な社会教育の「場所」と「機会」が提供されている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
家庭教育支援事業	【事業内容】 子育てで孤立・孤独になりがちな保護者をサポートし、子育て応援のまちづくりの構築を目的として「家庭教育・子育て応援活動」（事務所及び中学校での相談業務）、「情報の提供活動」（広報紙の配布）、「学習機会の提供」（学習会の実施）、「家庭教育子育て応援事業」（イベントの実施）の4つの活動を中心に市内全域の家庭に対して事業実施する。 【実績】 相談件数は、平成27年度が31件、平成28年度は18件と減少している。学習会・イベントの実施は平成27年度は6件、平成28年度も6件の事業を実施している。 【評価と今後の課題・対応方向】 各種のイベント・学習会・広報紙等の配布などを積極的に行い、相談件数は減少傾向にあるが、本当に助けが必要な保護者に来てもらえるよう継続して事業実施しなければならない。	1,754	生涯学習課

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
成人式開催事業	【事業内容】 新成人に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むために、祝福・激励の会を開催する。(式典、記念行事等) 【実績】 平成29年1月3日に実施した。 ・対象者数 406名 (男性198名、女性208名) ・出席者数 327名 (男性156名、女性171名) ・出席率80.5% 【評価と今後の課題・対応方向】 記念VTRの中に先生からのメッセージを入れたところ、実施したアンケートの意見の中に「良かった」と評価を得た。 今後も、新成人がふるさとを愛し、参加しようと思える成人式になるよう努めていきたい。	828	生涯学習課

(A表)

施策	(2) 公民館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	西予市には中央公民館と24の地区公民館があり、地域の実情に即した事業を計画的に実施し、参加者から高い評価を得ている。公民館では地区住民主体の事業として、健康で明るい人づくりや町づくり、教養を高める講座、伝統文化の継承、住民福祉の向上に寄与する活動や各種イベントにより地域の交流活動を推進し、活性化に繋がっている。公民館は地域住民の活動拠点であり、地域課題に沿った取り組みを継続するとともに、住民一人一人がその取り組みに参画できるよう推進した。 地域を取り巻く社会環境が急速に変化する中、公民館に求められる役割は大きく変化しており、地域によっては社会教育の域を越えて、地域づくりに積極的に参画することも求められるようになった。このような変化に対応し、求められる役割を果たしていく拠点施設への転換期に来ており、公民館のあり方についての検討を進めていく。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業	【事業内容】 主な事業は次のとおり 青少年教育 通学合宿、自転車キャンプ 成人教育 粗大ごみ回収、山あるきんぐ教室、救急救命講習 婦人教育 ホウ酸団子づくり、廃油石鹸講習 家庭教育 人形劇鑑賞、子育てサロン金太郎 文化教育 産業文化祭、各地区芸能発表会、明浜俳句大会、明浜ふる里芸能祭 社会体育 地区運動会、綱引き合戦、ニュースポーツ大会、元旦走ろう会 総合教育 狩江地区公民館振興研究大会 【実績】 4つの公民館において、それぞれ地域の特色を活かした各種講座やイベントを開催し、地域や学校との連携により生涯学習活動を幅広く展開した。 【評価と今後の課題・対応方向】 公民館は地域住民が自分たちの手で自分たちの地域をより住みやすく快適に変えていくための活動の拠点となる施設である。 特に明浜地区では人口の減少や少子高齢化が急速に進む中、今後とも更なる子育て支援や高齢者の地域課題に向けた学習の展開が必要である。	1,552	明浜教育課

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
中央公民館・ 各地区公民館 生涯学習事業 (宇和)	【事業内容】 宇和地区7つの公民館（多田・中川・石城・宇和・下宇和・田之筋・明間）における生涯学習事業、中央公民館生涯学習事業を実施する。各地区で住民の学習ニーズを把握し、地域の実情にあった学級・講座を開設し、乳幼児から高齢者まで幅広い学びの場を提供する。 主な事業は次のとおり。 家庭教育 料理教室、幼児交流会、遊びの広場、つながり学級（中学生保護者）、パパキャンプ 青少年教育 わんぱくチャレンジスクール(キャンプ)、通学合宿、体験学習 成人教育 英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室、ふる里探訪、健康教室 婦人教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級、料理教室、レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙、手芸等） 高齢者教育 クロッキー教室、料理教室、健康教室、手芸教室 人権教育 各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会、草の根懇談会 【実績】 それぞれの公民館が地域の特色を活かした活動を展開し、時代の要請に応える公民館活動が実施できた。 また、地域のニーズに応えた学びの機会が提供されており、学習の成果が地域活動につながった。 【評価と今後の課題・対応方向】 今後も住民のニーズや地域課題をとらえた事業を実施する。 公民館運営審議会を生かし活性化を図ると共に外部評価により公民館事業の精選を行う。そして、公民館で学んだことを地域に還元していく体制づくりを構築していく。 限界集落問題や高齢社会に直面し各地区の疲弊感は否めないが、地域リーダーを養成し地域の特性を生かした公民館活動の在り方を考えていく。	2,545	生涯学習課

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
野村教育課・ 各地区公民館 生涯学習事業	【事業内容】 野村教育課及び野村地区内6館（野村・溪筋・中筋・貝吹・横林・惣川）において生涯学習事業（イベント及び講座）により、地域住民の社会教育・生涯学習を拠点として、地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を活かし活力ある地域づくりに努める。 主な事業は次のとおり。 地域づくりの推進 地域づくり交付金事業の展開、婚活イベントの開催、地区避難訓練の実施、防災マップの作成 青少年教育の推進 通学合宿、チャレンジ隊、アドベンチャースクールの実践、西予の川を守ろう会との連携、魚つかみ大会、プラットフォーム事業、スポーツ交流会、1日キャンプ、田植え・稲刈り体験事業、交通安全体験事業、クッキング交流会 婦人教育の推進 婦人学級の開催、花いっぱい運動、人権学習会の開催、着付け教室、料理教室、健康教室、ガーデニング教室、一日研修 文化教育の推進 文化祭の開催、史談会の協力・援助 高齢者教育の推進 健康づくり、クロッカー・グランドゴルフ大会、一泊（一日）研修 人権・同和教育の推進 人権のつどい「野村会場」の開催、各小集落学習会、校区别人権・同和研修会の実施、日だまり研修会の開催 都市と農村交流事業の推進 風の子農業小学校 【実績】 それぞれの公民館において、事業計画に基づき地域の特色を活かした事業を展開し、各団体や地域のニーズに応えべく学習やイベントの場の提供を行った。 全地区館にて公民館報を発刊し、地区内の話題の提供と情報発信に努めた。 四国西予ジオパークのさらなる推進に向けた推進活動を行った。 のむらスポーツクラブ、ノルディック夢クラブと連携し、住民の健康増進に努めた。 【評価と今後の課題・対応方向】 小学校の閉校により、地域の核となる公民館活動の実践、魅力ある公民館活動の展開や地域づくり組織と連携した交付金事業を活用した魅力ある地域づくりや誇れる地域づくりに向け、住民参加型の事業を推進する必要がある。	1,163	野村教育課

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
城川教育課・ 各地区公民館 生涯学習事業	【事業内容】 主な事業は次のとおり 青少年教育 愛護班活動・水生生物調査 成人教育 夜市・こいのぼり設置・門松設置・感謝祭 婦人教育 各種教室(体操・料理・陶芸・環境)・敬老会 高齢者教育 クロッキー大会・三世代交流・一日研修 人権・同和教育 人権懇談会(校区别・地区別・団体別) 家庭教育 ごみ分別学習会・ボカシづくり・ 社会体育 運動会・レクバレー・クロッキー大会、駅伝 文化教育 奥伊予盆踊り花火大会・木工教室 総合教育 地域PR映画上映・社会教育懇談会・避難訓練・ 公民館だより発行・公民館運営審議会・年末大掃除 その他 都市住民との交流会・どんど焼き・地区合同歓迎会 【実績】 社会教育の活動拠点施設として、地域住民の要望を取り入れた特色ある公民館活動を推進し、生きがいや健康づくりの場とすることもあわせ、地域の活性化に寄与した。 【評価と今後の課題・対応方向】 公民館が地域の拠点施設として求められる役割も高まっている中、地域の課題に住民一丸となって取り組んだ遊子川公民館が全国優良公民館になったことは大きな成果である。 今後も各地域の課題と現状をみつめ、住民のニーズにあった各種事業、地域の活性化につながるような住民参加型の魅力ある事業を推進することが課題となっている。	493	城川教育課

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
三瓶教育課・ 各地区公民館 生涯学習事業	【事業内容】 三瓶地区では公民館を生涯学習の拠点として自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取組を行った。平成26年度より小学校の統廃合に伴い、公民館3館（三瓶東・三瓶南・三瓶北）で協力し、連携を図りながらイベント及び講座事業を実施する。 主な事業は次のとおり 青少年教育 アドベンチャーみかめ、わんぱく学級、カルタ大会、書き初め大会、小学生バレーボール教室ほか 社会体育 分館交流球技大会、バスケットボール（3×3）大会、レクバレー大会、健康ウォークほか 高齢者学級 クロッケー大会、健康教室、防災教室ほか 成人・婦人学級 干支づくり、民謡踊り講習会ほか 各種展示会 手作り作品展、絵手紙展覧会 このほか、各種講座・イベントを実施するとともに、SNSを活用した情報発信を実施している。 【実績】 既存の事業について評価・点検により、内容を見直しながら実施するとともに、SNSを活用した情報発信に努めることにより、これまで参加が少なかった世代（20代～40代）の受講生・参加者が徐々にではあるが増加した。 【評価と今後の課題・対応方向】 参加が少なかった世代が徐々にではあるが増加していることは、公民館の活動がより幅広い年代の方に認知されてきているものと思われる。しかしながら、割合としては少なく、今後も情報発信に努めるとともに、魅力ある講座・イベントづくりを心掛ける。	1,118	三瓶教育課

(C表)

成果指標		基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
公民館運営審議会開催回数		2.3回	3.0回	2.4回	+0.1回
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	市内の公民館24館は年間ほぼ2～3回の公民館運営審議会を開催している。団体連絡協議会等と同日開催の公民館もあり、概ね予定通り進行している。		

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体の育成と連携		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
社会教育団体 育成事業	【事業内容】 社会教育団体育成のため、運営経費の一部を補助金として交付する。 【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予市国際交流協会、青年団、三瓶町幼児教育振興協議会、野村町若葉会連絡協議会の10団体に補助金を交付した。 【評価と今後の課題・対応方向】 どの団体においても会員の減少及び活動の低迷が課題となっているため、団体の活動を多くの方に知ってもらい一緒に参加していただけるようにすることも必要。 また、社会教育団体が中心となり、社会教育の活動支援を行うとともに青少年の健全育成・地域の活性化に繋げていく。	6,881	生涯学習課

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	市内71名の補導員による、定期的な街頭補導活動、またイベントや祭礼時の移動補導センターの開設を実施し、青少年の非行・被害防止に努めている。自転車通学生の点検指導や、合同補導など学校、警察と連携した活動も展開できている。 西予市内で平成28年中に検挙補導された少年は4人で、27年度より3人増加しているが、県下では少ない水準を保っている（西予地区防犯協会・西予警察署『平成28年生活安全白書』）。しかしながら、青少年にもインターネットやスマートフォンが普及し、問題行動が表面化しなくなってきており、今後の補導活動の在り方に工夫が必要と考えらる。引き続き「見せる非行防止」としても補導活動を実施するとともに、新しい青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
青少年補導センター運営事業	【事業内容】 青少年補導員が定期的な街頭補導活動、また各地区のお祭りや行事での移動補導センターを開設し、青少年への声かけ・指導を実施した。 【実績】 ○街頭補導…142回 ○出動補導員数…延べ417人 ○移動補導センター開設…21回 ○声掛け指導した少年数…28人 【評価と今後の課題・対応方向】 旧町ごとにある補導委員会支部にて計画的な街頭補導を実施することができた。警察・学校関係機関と連携して実施したことにより、活動実施中に補導するような少年は出なかった。表面化しにくいインターネット環境に起因する問題の対処方法について、補導員も理解、学習を深める必要がある。	1,495	生涯学習課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成 24 年度	平成 30 年度	平成 28 年度	
街頭補導回数		130	130	142	12
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	補導員による活発な補導活動が実施できた。今後も現在の青少年の状況に沿った、より効果的な活動ができるよう推進していく。		

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成 24 年度	平成 30 年度	平成 28 年度	
移動補導センター回数		20	20	21	1
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	多くの参加者が集まるイベントや祭礼等で移動補導センターを開設し、会場での補導活動を行い、非行や問題行動を未然に防ぐことができた。引き続き実施していく。		

(A表)

施策	(4) 人権・同和教育の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	人権・同和教育の推進のために、地区別懇談会や講座等の事業を開催し、身近な人権問題や各地域の人権課題を取り上げた学習を進めてきた。また、人権課題を自分のこととして捉えるため、まずは学習会に参加することが大切であることを機会あるごとに発信してきた。今後も学習会や講演会等を開催し、多くの市民が高い人権意識を持てるよう取り組む必要がある。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 学習機会の拡充と啓発活動の充実		
成果指標	設定あり（人権・同和教育に関する講座等の開催）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
人権のつどい事業	【事業内容】 人権意識を高め、人権問題への関心を深めるため、市内3か所（宇和、野村、城川）で「西予市人権のつどい」を実施している。なお、宇和会場と野村会場は、人権啓発地方委託事業（法務省）として実施している。対象者は、行政・団体、企業関係者等を中心に全市民とし、講演会を開催した。 【実績】 ○宇和会場6月18日 講師：仲野猛氏（非常勤講師/元野村学園長） 演題：「子どもの詩に学ぶ」 ～どろんこのうた詩表現教育～ 会場：宇和文化会館参加者：約550人 ○野村会場6月26日 講師：仲島正教氏（教育サポーター） 演題：「あーよかったなあなたがいて」 ～優しさという温かい貯金～ 会場：乙亥会館参加者210人 ○城川会場7月9日 講師：笑福亭松枝氏（講演&落語） 演題：「みんな違う顔、でも同じハート」 会場：城川中学校参加者204人 【評価・今後の課題・対応方向】 宇和会場におけるアンケートの結果、事業前の参加者意識について、人権問題に関心・理解が高いと答えた割合は約4割であったが、事業後は8割以上の参加者が関心や理解が深まったと回答している。参加することで、人権意識の高まりや深まりが得られたことを確認できた。今後は、参加者の固定化を是正し、参加意欲をより高める内容や方法の工夫が必要である。	724	生涯学習課・野村教育課・城川教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
人権・同和教育に関する講座等の開催		111	90	97	-14
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	校区別では学校ごとに特色ある学習会が開催されているが、学校編成により減少している。学習会の参加者や学習機会を増加させるために地域と学校が連携を図り、参加する年齢層の拡大や参加意欲を高めるような取組を目指す。		

(B表)

事務事業等	② 人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成			
成果指標	設定あり（地区別人権・同和教育懇談会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性			決算額 (千円)
人権教育推進事業	【事業内容】 市内各地区の推進講師や推進員が、社会教育指導員から指導者研修を受けた後、地区ごとで推進講師や推進員が中心となって地域住民を対象として、様々な人権問題について学習会を開催する。 【実績】 市内各地区で、地域住民が人権に関するDVDを視聴し、DVDの感想や人権問題について意見交換をした。宇和地区においては、高齢者問題を中心に学習会を開催した。 【評価と今後の課題・対応方向】 学習会を毎年開催している地区と、そうでない地区がある。継続して開催していくための一つとして、指導者の育成が必要である。指導者は、講話の内容やねらいの共通理解を図り、使用DVDの選択理由、DVDヲ視聴する視点、DVD視聴後の学習会の進め方などを考え、西予市で統一感を持って進める。			943
				生涯学習課及び各教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
地区別人権・同和教育懇談会開催回数		154回	154回	152回	-2
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	毎年、同じように開催されてはいるが、今後はただ学習会を開催するのではなく、継続するために、学習テーマを決めて開催するよう工夫した取り組みが必要である。		

(B表)

事務事業等	③ 豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
塔和子顕彰事業	【事業内容】 13歳で社会や家族と隔離されたハンセン病療養所に入所し、1000編にものぼる詩作を通してハンセン病問題や社会のあり方、人間のあり方・生き方について訴え続けた塔和子さんを市民とともに顕彰していく。 【実績】 ○国立療養所「大島青松園」訪問 【評価と今後の課題・対応方向】 12月1日に開催した大島青松園訪問事業に、明浜中2年生24名を含む市民45名の参加があった。 塔和子さんをはじめ入所者の方々が背負ってこられた、苦しみや差別解消への闘いに共感できたものと思われる。 この事業は次年度以降も継続し、少人数ずつでも小中学生にも見聞を広げていってもらうとともに、ハンセン病を患った人たちに対する国の施策や依然として残る偏見・差別に基づく人権侵害について、人権教育の中で学んでいく。	20	明浜教育課

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	図書の貸出人数は利用者数も含めて微増している。全国的には平成22年度をピークに貸出人数は減少傾向が見られ、貸出数の減少は少子化の影響も大きいと考えられている。本を借りる以外の目的で図書館を訪れる利用者が増えていることも昨今の傾向である。資料の充実と言うまでもなく、自習スペースの拡充やネット環境の整備など、図書貸出以外の機能を加わえることにより、図書館へ足を運んでもらう環境整備が必要である。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
ブックスタート事業	【事業内容】 ブックスタートは、0歳児（4か月）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。また、3歳児健診時には絵本をプレゼント（6種類から1冊）し、小学1年生に「1年生のほんだな」という所蔵の中から推薦する図書を紹介したリーフレットを配布する。 【実績】 健康づくり推進課等の協力もあり、0歳児及び3歳児、小学1年生に対する取り組みが実施できた。0歳児：221人、3歳児：252人、1年生：291人に配布した。 【評価と今後の課題・対応方向】 関係各課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携が取れ、若年層の家庭教育のきっかけとなりつつあると考える。引き続き実施し、本から学ぶ大切さを伝える事業として取り組む。	609	生涯学習課

(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
図書館電算システム管理事業	【事業内容】 図書館システムによりデータ作成と検索の充実、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育施設として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげていく。 【実績】 検索システムによるレファレンスサービス、インターネット予約の件数は増加している。また、平成27年3月にシステムのバージョンアップを行い、安定性・利便性の向上が図られた。 【評価と今後の課題・対応方向】 図書館システムを使ったサービス業務や、閲覧のみの利用者が増えている。野村分館が新築されたこともあり、長時間滞在型の図書館という目標達成に向け、さらに環境整備を推進し、読書人口の増加に努める。	1,513	生涯学習課

(C表)

成果指標		基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減 （B）－（A）
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
利用者数（図書を借りた人数）		40,854人	42,000人	42,624	2,040
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	インターネット予約、検索などシステムを利用したサービスの利用が増加している。サービスが向上すればするほど、利用者からの要求は質量ともに増加している現状である。それに対応できるよう、必要業務の効率化と強化を図る。		

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施策	(1) 文化財の保護と活用
評価	順調
評価に対する分析	平成26年度から200件を超える市指定文化財の再評価と分布調査の把握等を実施したほか、歴史文化講演会など文化財の魅力を伝える取り組みを行っている。 無形民俗文化財の継承活動や後継者育成を積極的に行うことで文化財に親しむ人の割合は安定している。さらに文化財の持つ魅力を広く伝えることで、市民の文化財に対する意識を高め、文化財を地域づくりに活かせるよう取り組みたい。

☆施策を推進する主な取り組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
文化財保護 推進事業	【事業内容】 市内の指定文化財や指定候補物件について専門家に調査を依頼し、文化財の再評価を行うとともに新たな文化財の発掘に努め、文化財の保護、活用を進める。 【実績】 28年度は仏像等、有形文化財（美術工芸品）を、奈良国立博物館上席研究員の協力を得て彫刻の調査を実施したほか、市教委職員が考古資料の調査を実施した。28年度は野村町の下野茶堂の茅葺替えを行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 引き続き専門家の協力を得ながら調査を実施するとともに、文化財の見直しの方向性を文化財保護審議会等で議論しながら検討する。併せて文化財に対する補助金の在り方も検討する。	4,326	文化体育振興課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
文化財を見に行ったことのある人の割合		70.9%	75.0%	-	-
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	28年度はまちづくりアンケートを実施していない為、その実績は出せないが、歴史文化講演会や駅からウォーク等のイベントに多くの市民参加があったことから文化財に対する関心の高さがうかがえる。		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
埋蔵文化財発 掘調査事業	【事業内容】 市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備する。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発への対応を行う。また、坪栗遺跡（山田）出土遺物の整理作業を進める。 【実績】 分布調査を実施し、明浜町で3件、新規の周知の埋蔵文化財包蔵地を確認し、報告書を刊行するとともに、明浜町・三瓶町の包蔵地地図を作成した。整理作業では、分布調査と坪栗遺跡出土遺物の整理を行った。また、宇和町永長と下松葉の計2件、開発対応の試掘調査を実施した。 「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、八幡浜街道笠置峠越の国史跡指定を目指し、文化庁に意見具申を行った。また、大寶寺道（明石寺～宇和豊学校前）について、指定を見据えた測量委託、試掘調査を行った。 【評価・今後の課題・対応方向】 市内遺跡詳細分布調査の実施により、各町の包蔵地の把握と周知に一定の成果が出たため、今後は分布調査を継続しつつ、重要遺跡の試掘確認調査に重点を置く。歴史の道調査では、大寶寺道の意見具申を目指す。	13,107	文化 体育 振興課



大寶寺道切通し試掘確認調査



詳細分布調査（廣福寺境内遺跡（明浜町狩浜））

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
朝日文楽保存 伝承活動事業	【事業内容】 伝統芸能の保存伝承を行い、年間を通しての練習、定期公演や出前講演を行っている。同時に人形・衣裳等の管理、保存、修理を行っている。 【実績】 こども朝日文楽クラブ、三瓶高等学校文楽部の指導による後継者育成により、若い後継者が増えつつある。 【評価と今後の課題・対応方向】 組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するために、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成も必要である。 また、人形、衣裳等の修繕も必要であり、その修繕料が負担になっている。	299	三瓶教育課

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
文化財保護推進事業（俵津文楽育成事業）	【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援。 【実績】 ○第57回愛媛県指定無形民俗文化財文楽合同公演大会 ○野福峠さくらまつり公演 ○南予の文楽（人形浄瑠璃）公演 ○中四国郷土芸能フェスティバル2016（愛媛県代表） ○明浜中学校文楽指導 ○明浜小学校文楽教室 ○ふるさと芸能体験（県歴博） ○文楽人形展示（俵津地区産業文化祭） 【評価と今後の課題・対応方向】 愛媛県最古の文楽がこの地にあることが地域活性化につながり、地域も座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いているが、旧町時代からの補助金であり今後は補助金算定基準を策定し、執行する必要がある。	341	明浜教育課

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行っただことのある人の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
文化財保護推進事業（渡江盆踊り保存事業）	【事業内容】 市指定民俗文化財である渡江盆踊りの保存伝承活動の支援。 【実績】 毎年8月14日に盆踊り大会を開催している。同月に老人ホームの慰問も実施している。 【評価と今後の課題・対応方向】 旧町時代からの補助金であり、今後は補助金算定基準を策定し執行する必要がある。	63	明浜教育課

(A表)

施策	(2) 文化の振興
評価	概ね順調
評価に対する分析	西予市の未来を担う中学生が松本市の教育文化に触れ、両市の中学生同士の交流を深めるとともに豊かで創造的な青少年の育成を図ることに繋がっている。 また、伝統芸能をはじめとする文化活動の取組は、高齢化や後継者不足など直面する課題が多い。一方でこれまで行政主体で進められてきた取組は、実行委員会形式等で市民が主体的に関わるべきという意識の芽生えも実感できるようになった。今後は、市民が幅広く文化に親しむことができるような環境を充実させていくことに努めたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
宮中雲子音楽祭補助事業	【事業内容】 平成10年度から当市出身の詩人宮中雲子先生の第8回佐藤八ロー賞受賞を記念して、合唱コンクールとして開催し今年度で18回目を数える。コンクール部門（少年少女の部・一般の部）及びフェスティバル部門（無審査、講評有）で構成し、市内外からの参加者を募っている。 【実績】 県内外の高いレベルの団体の参加により、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図れるとともに、県内外で人気のある音楽祭となっている。 【評価と今後の課題・対応方向】 県内外で人気のある音楽祭となっており、その場を西予市が提供しているということで、市のイメージアップに繋がっている。 市内の参加団体が少ない。市内から参加いただく団体を増やす工夫が必要。	2,100	三瓶教育課

(B表)

事務事業等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
開智・開明学校姉妹館交流 青少年派遣事業	【事業内容】 旧開智学校と開明学校の姉妹館提携を記念して、西予市の中学2年生20名（各校代表）が松本市を訪問し、松本市の中学生との交流を深めるとともに、西予市では体験できない文化や自然に触れる。 【実績】 8月1日（月）から5日（金）の4泊5日の日程で青少年派遣事業を実施した。中学生同士の交流と親睦を図るとともに、松本市の教育・文化施設に触れた。上高地や乗鞍高原での自然体験及び塩尻市の重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存研修を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 次年度は姉妹館提携30周年を迎えることから、記念イベントを検討する。松本市の教育文化に触れ見識を深めるとともに、中学生同士の交流を深めるため、研修内容や交流時間を協議検討し、より豊かで創造的な青少年の育成を図る必要がある。	1,032	文化体育振興課

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
文化振興事業 (ふるさと芸術祭補助事業)	【事業内容】 西予市文化協会宇和支部に加盟する団体を中心に組織する実行委員会主催で、宇和地区の舞台芸術、伝統芸能の発表を行うほか、体験教室を実施する。 【実績】 11月5日（土）に俵津文楽、小原五ツ鹿踊り、フラダンス、コーラス、フォークダンスの体験教室を実施し、計82名の参加者があった。11月6日（日）には芸能祭を実施し、20団体が発表を行った。両イベントに文化協会交流枠（俵津文楽）、外部枠（片山雄一氏）、子ども枠（DANCE☆SPICY☆）を設定し、新たな出演者の導入を図った。その結果、最大350名、延べ700名程度の来場者があった。 【評価と今後の課題・対応方向】 最近の課題として、①若い世代の参加増、②観覧者が求める発表、③市民への文化の魅力発信が挙げられる。これらに対応するため、今年は体験教室に宇和町以外の団体を取り入れ拡充するとともに、芸能祭では文化協会以外から2団体を招いた。これには明確な効果があり、昨年度より来場者が100人程度増加した。今後も、新たな団体、若い人々を取り込み団体間の交流を図るとともに、いっそう市民への宣伝に努める必要がある。	459	文化体育振興

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
文化振興事業 (奥伊予ふるさと祭補助事業)	【事業内容】 毎年11月第2土曜日・日曜日の2日間にわたり開催する「奥伊予ふるさと祭」は、城川地域の年に1度の産業祭と文化祭を合わせたイベントである。産業と文化振興により地域の活性化を図るとともに共に市民の生きがいをづくりを目的としている。 【実績】 奥伊予ふるさと祭実行委員会の構成団体数は、前年同様の28団体であり益々活気を見せている。文化展のメイン会場である総合センターしろかわでの催し物は、1日目は昨年大好評であった「奥伊予カラオケフェスタ2016」を、2日目は文化協会城川支部加入団体の発表会を行った。また、JAを会場にした産業展や各種団体でも特色ある展示や多彩なイベントを開催した。 【評価と今後の課題・対応方向】 49回継続してきた城川地域の一大イベントであるが、少子・高齢化などにより入り込み客数が減少傾向にある。しかし、関係団体がマンネリ化しないよう毎年工夫を凝らした展示や催し物に取り組んでいる。従来の2日間の開催を1日間に集約したらという意見も根強いが、実施団体が消極的になることは祭りが悪循環に陥ることにつながることから、今後も慎重な協議・検討を要する。	700	城川教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合		17.9%	20.0%	-	-
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	28年度はまちづくりアンケートを実施していない為、芸術文化活動に取り組んでいる市民の割合数値は出せないが、近年は18%前後で推移し安定している。新たな世代の参加や取組内容を検討する必要がある。		



体験教室（倭津文楽すがはら座）の様子



宇和町ふるさと芸能祭（片山 雄一氏）



奥伊予カラオケフェスタ2016



文化協会芸能発表会（邦楽）

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
全国かまぼこ板の絵展覧会事業	【事業内容】 全国にかまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品を選考するとともに、7月16日から12月4日まで第22回全国「かまぼこ板の絵」展覧会をギャラリーしろかわで開催。応募のあった全作品を館内に展示。 【実績】 全国47都道府県及び海外からはインドネシア、ドイツ等から応募があった。16,713人から9,222点の作品が寄せられた。122日の期間中(7月16日から12月4日)、入館者は7,037人だった。 【評価と今後の課題・対応方向】 応募点数が前年に比較して増加した。市内の小中学校等にかまぼこ板の配布等、応募を呼びかけたことが一因であると分析する。ただし、まだまだ開始当初の「1万点の展覧会」には届いていないため、引き続き応募を呼びかける。また、高齢化、人口減少に伴う応募数の自然減は避けられないため、事業の転換期にあることを意識しながら事業運営を行う。 今までの歴史や常連応募者の方とのつながりを大切にすることはもとより、ジュニア大賞・中高生大賞の創設による若い層へのアプローチ、夏井いつき氏審査員就任等、事業の新たな展開に既に着手している。 また、「かまぼこ板の絵」が市民に愛され誇れる文化のひとつとして普及し継承されるように、市内小中学校への応募参加呼びかけや、市内各種イベントとの連携に積極的に取り組んでいる。	16,222	城川教育課



第22回全国「かまぼこ板の絵」展覧会より

(A表)

施策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評価	順調
評価に対する分析	市内2つの文化会館は共に平成2、3年に開館し老朽化が著しい。施設内の設備を改修することで、快適な施設環境となり利用者、来客者の増加を図っている。 宇和文化会館ではトイレの洋式化や舞台の吊物設備改修。三瓶文化会館では空調設備の改修を行っている。利用者が安心して文化活動に取り組む環境を整えることにより、施設の利便性が高まり、利用者の増加につながると思われる。今後も改修計画を立て緊急性の高いものから計画的に整備を進めていく必要がある。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
宇和文化会館 管理運営事業	【事業内容】 平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受諾、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理しており、現在4度目の更新中である。この指定管理者に対して、会館管理運営委託料及び施設の大規模改修に伴う費用支出を行うものである。 【実績】 28年度は1階女子トイレの洋式化を執行し、施設の環境が整備され利便性が高まったことにより、平成28年度は4つの自主事業と、7の共催事業を実施し10,143人を集客できた。貸館利用では、年間923件、39,455人の利用促進につながった。 【評価と今後の課題・対応方向】 少しずつ施設整備は進んでおり、平成29年度は残りのトイレ洋式化改修を予定している。更に利用者の利便性は高まると思われる。文化事業も鑑賞型をはじめ、市民参加型事業も積極的に展開し定着している。今後は定期点検報告による緊急性の高いものから改修し、より安全・安心を確保しながら利用者の増加につなげる。	45,875	文化体育振興課

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
三瓶文化会館 管理運営事業	【事業内容】 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。 施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可(許可証)を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条(別表)のとおり。 開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休 館 日 12月28日から翌年1月4日まで 【実績】 平成28年度利用実績延べ26,000人。コンサート、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民の方に利用いただいていた。28年度は、空調改修工事を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 開館から25年以上が経過し、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕を行う。また、ふるさと資料展示室の整備（展示替え等）など多くの市民の方に利用いただけるよう努める。	25,217	三瓶教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
施設や展示物の満足度		23.8%	25.0%	-	-
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	28年度はまちづくりアンケートを実施していない為、満足度数は確認できないが、事業内容の精査や利便性を高めるとともに、接客対応など稼働率や集客率を上げる工夫や努力も必要である。		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
ギャラリーしろかわ管理運営事業	【事業内容】 ギャラリーしろかわの施設の管理運営及びかまぼこ板の絵展覧会開催期間を除く、企画展等の企画、運営を行う。 【実績】 年間入館者は8,913人であった。 かまぼこ板の絵展覧会以外の企画展の充実を目的とし、かまぼこ板の絵展覧会にて審査員を務める絵日記作家 神山 恭昭氏の展覧会を行った。 また、昨年に引き続き松山市子規記念博物館との企画展（子規の俳句とかまぼこ板の絵コラボ展）、市内各施設（土居家・惣川公民館、伊予銀行野村支店他）で出張展示を行った。 【評価と今後の課題・対応方向】 普段なかなか目にすることの難しい一流の芸術作品を企画展にて展示することで、市内の芸術文化の向上の一助となっている。 昨年に引き続き、松山子規記念博物館とのコラボ展を行い、観光客の多い松山市道後地区での展示により、市外、県外の多くの方に「かまぼこ板の絵」の認知度が上昇した。また、市内においても、かまぼこ板の絵の出張展示を積極的に行い、前述のコラボ展と合わせて、新規応募者の増加に寄与する活動ができた。 今後も同様に、かまぼこ板の絵展覧会だけでなく、企画展も含めた年間の展示内容を充実させていく必要がある。	11,688	城川教育課



神山恭昭 図画・工作・絵日記展



出張展示 土居家(野村町惣川)

(A表)

施策	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	古墳等を拠点とし遺跡を活用した事業は積極的に取り組まれ評価できるが、遺跡や考古資料を活用した展示施設の建設が求められている。重要伝統的建造物群に選定されている卯之町の町並み保存では、計画に基づいた建造物の整備は進んでいるが地区住民の機運醸成は今後の課題である。今後は遺跡や町並みなどの特色を生かし、四国西予ジオパーク構想整備と連携した取り組みを進める必要がある。

☆施策を推進する主な取り組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 古代ロマンの里構想の推進		
成果指標	設定あり（古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
古代ロマンの里推進事業	【事業内容】 『古代ロマンの里整備活用基本計画』に基づき構想を推進する。また、愛媛県の歴史の道調査や詳細構想に基づく笠置街道の保護や周辺の文化財の把握、総合的な活用に努める。 【実績】 笠置峠古墳の発掘調査報告書の編集執筆を愛媛大学考古学研究室等の協力を得て刊行した。また今後の活用に向けて、笠置峠古墳から出土した土器・土製品の複製品を製作したほか、古墳北東側の里山ゾーン内にある民有地を購入した。 歴史の道調査を連携して行っている八幡浜市と共催で駅からウォークを開催した。また、歴史文化講演会で考古関連の講演会を行った（佐古和枝氏「遺跡を楽しむ～妻木晩田遺跡と市民活動～」）。 日本考古学協会のジオパークセッションに参加し、考古学とジオパークの連携について学んだ。 【評価と今後の課題・対応方向】 29年度に笠置峠古墳報告書刊行記念事業を実施するとともに、古墳の活用事業を進める。	4,406	文化体育振興課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると 感じる市民の割合		71.8%	75.0%	-	-
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	28年度はまちづくりアンケートを実施していない為、標記事業が役に立っていると感じる市民の割合は確認できないが、埋蔵文化財を活用した事業を望む声は多く、駅からウォークも好評である。更に工夫した利活用が必要である。		

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(A表)

施策	(1) スポーツの普及・推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	国民体育大会や全国大会の各種大会に出場する西予市民に対し、顕彰に努めた。特に来年に迫った、2017愛媛つなぐえひめ国体開催を見据えた動きの中で、全国大会に出場する選手が増加の傾向にある。 体育協会やスポーツ推進委員協議会との連携を図り、スポーツイベントの開催など市民の健康・体力の保持増進のほか、相互の親睦・交流を深めてスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。特に、利用者が安全・安心して利用できる体育施設の適切な維持管理に努めるとともに、計画的な施設整備が課題である。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
市民体育祭開催事業	【事業内容】 広く市民にスポーツを普及し、健康増進と体力向上を図るとともに、西予市が一体となって市民相互の交流及び親睦を深めることを目的に市民体育祭を開催している。運営については、西予市スポーツ推進委員協議会に委託し、企画・運営を行う。 【実績】 平成28年度実績は以下のとおりである。 約530名参加 ・バレーボール女子・レクバレー（一般・1部・2部・3部） ・ソフトテニス・バドミントン男女・グラウンドゴルフ ・ターゲットバードゴルフ・軟式野球・ソフトボール男子 ・クロッケー（一般・シニア・グラウンドシニア） 【評価と今後の課題・対応方向】 各体協支部が中心となって参加チームを選出。えひめ国体リハーサル大会開催日程の都合により12月開催となった。開催時期が変更になった影響から、参加チームが減少した種目もあったが、開会式をリニューアルした宇和球場で行い、電光掲示板を使用し映像を流すなど趣向を凝らした式典となった。支部によっては、大会に向け練習や予選を行ったりと盛り上がりを見せている。参加チームの少ない競技については、要項等の内容を含めた見直しが今後の課題である。	230	文化体育振興課

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
総合型スポーツクラブ補助事業	【事業内容】 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。 【実績】 平成28年度実績は以下のとおりである。 ・みかめスポーツクラブ 50千円 ・のむらスポーツクラブ 50千円 ・文化の里スポーツクラブ 50千円 【評価と今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指すことが今後の課題である。また、平成27年度ですべてのクラブがtotoスポーツ振興くじ助成期間が終了。健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制の構築が必要であることから、平成28年度から健康づくりを推進するための事業を委託し、totoスポーツ振興くじ助成に変わる新しい運営支援体制に取り組んでいる。	150	文化体育振興課

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
スポーツ教室開催事業	【事業内容】 スポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体のPR活動を進める。 【実績】 コーディネーショントレーニングを主としたスポーツ教室を8回、宇和会場で初めて実施した。 【評価と今後の課題・対応方向】 脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を学ぶ教室を開催し、親子・中学生・スポーツ指導者等が体験しながら学び、また、実技だけでなく併せて講習会も行い、より幅の広い指導方法を学ぶことができた。また、開催場所については、学校・ジュニアスポーツ団体等とも連携し、市内全域で実施できるように調整していきたい。	1,408	文化体育振興課



実 技



講 義

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
全国大会出場 選手支援事業	【事業内容】 県予選等を経て全国大会へ出場する選手へ15千円、国体・国際大会へ出場する選手等へ20千円（団体競技の場合は上限300千円）の報奨金を交付する。また、高校生以下の選手には、懸垂幕も作成・掲出し市民に周知する。 【実績】 平成28年度実績は以下のとおりである。 ・懸垂幕36本 報奨金139人 【評価と今後の課題・対応方向】 インターハイ・国体等の出場選手が近年増加し、懸垂幕の掲出場所の関係で連名となったり、出場選手数の予測が困難なことや事後申請となることもあるため、今後はこれらの対応と解消に努めたい。特に懸垂幕の掲出場所については、本庁だけでなく、申請者の了承を得て学校・公民館・支所など可能な場所に少しでも長く掲出できるような対応を取っている。	2,857	文化体育振興課

(C表)

成果指標		基準値(A)	目標値	実績値(B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成28年度	
市民の週1回以上のスポーツ人口率		26.0%	50.0%	29.4%	3.4%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価		各町単位で総合型スポーツクラブの設立を目標にし、スポーツ人口の増加を目指していたが、キーパーソンとなる人物が体協と重複し、現状としては困難であるが成果指標は概ね6割達成。 今後は、今以上の体育協会やスポーツ推進委員協議会の連携によりスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。 (B数値は26年度のもの 28年度はアンケート未実施)	

(A表)

施策	(2) えひめ国体の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	2017愛顔つなぐえひめ国体の西予市開催に向けて、ソフトボール競技会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として競技会場内の工事を完了させ、リハーサル大会『第56回全日本実業団女子ソフトボール選手権大会』を開催した。また、相撲競技会場の乙亥会館についても、屋根工事及び付帯施設の改修工事を完了し、「第55回全国教職員相撲選手権大会」を開催した。特に、相撲競技において、えひめ国体強化推進指定校となっている野村高校相撲部に対して補助金を交付し遠征・合宿費用等の支援を行った結果、団体準優勝・個人5位入賞を果たし、いわて国体競技別総合優勝に大きく貢献することができた。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 競技スポーツの振興と人材育成		
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
愛媛国体相撲強化支援事業	【事業内容】 西予市開催競技の一つである相撲競技において、えひめ国体強化推進指定校となっている野村高校相撲部に対して補助金を交付し、遠征・合宿費用等に充当し強化支援を行った。 【実績】 いわて国体には野村高校相撲部から2名の選手が出場し、団体準優勝、個人第5位入賞の好成績を収めた。その結果、愛媛県として国体で初めて競技別総合優勝を果たすことができた。 その他、四国大会団体優勝（2連覇）個人3位入賞、第68回全国高等学校相撲選抜大会で個人5位入賞の成績を残した。 【評価と今後の課題・対応方向】 補助金を交付し支援を行ったことにより着実に競技力の向上につながり、好成績を残すことができた。 今後も、有望な部員の確保及び競技力の向上が必要となることから、えひめ国体での優勝に向け、引き続き野村高校相撲部への支援に努めたい。	500	文化体育振興課 国民体育大会推進室

(B表)

事務事業等	② 関係施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数））		
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性	決算額 (千円)	担当課
愛媛国体施設 整備事業	【事業内容】 2017愛媛つなぐえひめ国体において西予市で正式競技2競技の開催が決定しており、その開催会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備する。 【実績】 平成26年度からソフトボール競技会場である西予市宇和運動公園・御旅公園（宇和球場）の整備に着手し、平成28年7月のリハーサル大会を開催することができたが、競技会場内の整備を優先したことから、外構工事については、平成29年の本大会までの完成を予定している。 また、相撲競技会場の乙亥会館についても今年度から工事に着手し、屋根改修工事、多目的広場舗装工事、練習土俵改修工事が完了し、平成28年8月のリハーサル大会が開催できた。 【評価と今後の課題・対応方向】 西予市宇和運動公園及び御旅公園（宇和球場）については、南予地域の拠点として主要な大会が開催できる整備内容となっており、施設の利用者数及び充足度の増が期待できる。 また、乙亥会館については、平成29年度に多目的広場の舗装及び本土俵、観客席等施設の改修を実施し、国体本番を迎える予定である。	415,995	文化体育振興課 国民体育大会推進室

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成 24 年度	平成 30 年度	平成 28 年度	
国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数）		0	3	2	1
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	整備は概ね工程どおり進捗しているが、工期を複数年度に分けていることにより施設が部分完成となっており、成果指標に対する実績を挙げることはできない。		



宇和運動公園多目的広場 整備状況



御旅公園(宇和球場) 整備状況

V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

【学識経験者の意見】

(生徒国際交流事業)

有効な事業だと認識している。派遣人数に限りがあるため選考に漏れた生徒のケアや派遣される生徒の事前研修の充実及び帰国後における研修成果の発表の場の確保等に配慮し、より良い事業となるよう努められたい。

(小学校情報教育振興事業・中学校情報教育振興事業)

I C Tの更なる活用を目指し、機器の更新計画を立て充実をはかっていたきたい。

《今後の取組の方向性》

(生徒国際交流事業)

この派遣の目的は語学研修であると認識させるため、平成 28 年度は 13 名の生徒に絞って派遣したが、目的を認識している生徒が増加していると判断出来れば派遣人数を増やすことも検討して行く。派遣前研修としては、A L Tによる英語研修を実施しホストファミリーと 1 対 1 で会話するなどのホームステイに対応できる英語力をつけさせている。派遣生徒の海外研修報告は各中学校の文化祭で行っており、今後も研修の成果が広く波及するように続けていきたい。

(小学校情報教育振興事業・中学校情報教育振興事業)

新学習指導要領にも謳われているとおり、今後 I C T機器の活用の充実が不可欠となってくる。予算を考慮しつつ機器の整備を計画的に実施し、教員の研修等を行いながら I C T活用の充実に努めたい。

(3) 健やかな体の育成

【学識経験者の意見】

(学校給食庶務事業・宇和学校給食センター建設事業)

地産地消による食育の推進には好感が持てるが、給食をセンター化した場合は、一定数量の食材の確保の面から考えた場合に地産地消が難しくなることが懸念されるので検討をお願いしたい。

《今後の取組の方向性》

(学校給食庶務事業・宇和学校給食センター建設事業)

今後も児童生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行っていきたい。新学校給食センターの食材の確保における流通面については、関係機関との連携により地産地消に努め、郷土への愛着が持てる食育活動に努めたい。

(5) 特別支援教育の充実

【学識経験者の意見】

(小学校・中学校生活支援員設置事業)

児童生徒の保護者からの配置希望の増加にあわせ、生活支援員を増員していることは評価できる。今後も適切な支援員の配置に努められたい。

《今後の取組の方向性》

(小学校・中学校生活支援員設置事業)

生活支援員の配置については、配置希望を就学指導委員会において協議検討し決定しているが、財政面も考慮し学校現場や保護者のニーズに対応していきたい。

(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化

【学識経験者の意見】

(市教育研究大会実施事業)

所属部会総会の同日開催について小規模校への配慮をお願いしたい。

《今後の取組の方向性》

(市教育研究大会実施事業)

所属部会総会の同日開催についての小規模校のデメリットは承知しているが、複数日開催とすることは学校行事等による日程調整や授業時数の確保を考えると難しいのが現状である。

(10) よりよい教育環境づくりの実現

【学識経験者の意見】

(学校再編推進事業)

小学校の再編について推進され複式学級の解消が図られており、その後も慎重に協議されていることは評価できる。今後も児童数の推移を長期的に判断し、費用面を考慮しながら慎重に協議検討していただきたい。

(小学校施設整備事業)

耐震化率について 100%を達成し安心できる。非構造物の耐震についても今後十分進めていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(学校再編推進事業)

小学校再編の宇和地区における3校に再編する現計画は見直すこととし、見直しの時期は、複式学級の発生等今後の児童数の推移、校舎の老朽化の状況、統合間もない皆田・明間地域の地域事情等を勘案して教育委員会において検討していくこととした。なお、見直しに当たっては、別途、検討委員会を設置することとした。

(小学校施設整備事業)

非構造物の耐震について特別な安全対策を講じる計画はないが、文部科学省が定める基準に基づく点検を実施しており、今後も継続していく。施設の大規模改修に併せ非構造物の耐震を実施する等、安全な教育環境の整備を図っていきたい。

2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(2) 公民館活動の推進

【学識経験者の意見】

(各地区公民館生涯学習事業)

イベント関係が多く、学級や講座が少ない。公民館にとって学級活動は重要であるが、少子高齢化等、社会の変化に伴い学級開催が難しい現状である。しかしながら、出来る範囲で学級を開催し、そこで学習したことを地域に還元する流れも必要であると考えてるので、ぜひ学級活動を推進していただきたい。

(社会教育団体育成事業)

団体の運営経費の一部補助により団体が活性化し、県等から表彰を受けていることは評価できる。今後も団体育成に努めてほしい。

《今後の取組の方向性》

(各地区公民館生涯学習事業)

国県の補助もなくなり、予算規模も縮小されてきており、十分な学級活動が困難な現状であるが、地域の課題に即した事業に積極的に取り組んでいきたい。

(社会教育団体育成事業)

社会教育団体が中心となり、社会教育の活動支援を行うとともに青少年の健全育成・地域の活性化に繋げていく。

(4) 人権・同和教育の推進

【学識経験者の意見】

(人権のつどい事業)

人権のつどいの一本化についての改善点はどうか。旧町から引き継がれた独自性も大事であるが、市としての方向性も明確化していくよう取り組んでいただきたい。

《今後の取組の方向性》

(人権のつどい事業)

5分会がそれぞれ特色ある活動を継続しているが、市としての一体感に欠ける面もある。他市を参考に研究大会を開催して分科会で活発に論議する等の手法も検討してみたい。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

(文化財保護推進事業)

茶堂は市の貴重な文化財であり茅葺の形で残していく必要があるが、県内に茅葺職人が少ないため、県外の職人に葺き替えを依頼しているとのことだが、その後の状況はどうか。

(埋蔵文化財発掘調査事業)

出土品は増えているが展示する場所がない。今後展示場所について研究してすすめていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(文化財保護推進事業)

茅葺職人は県内にはおらず、栲原町の川上氏に頼っているのが現状である。市としては、来年度予定している全国社寺屋根等工事技術保存会の茅葺師養成講座を利用し、体験・ワークショップを行い普及・啓発に努めたい。

(埋蔵文化財発掘調査事業)

展示(ガイダンス施設)場所については、公共施設の空きスペースを利用して展示する等、検討することとしている。

(3) 文化活動の環境と基盤の整備

【学識経験者の意見】

(宇和文化会館管理運営事業)

トイレの洋式化等の環境整備について評価できる。引き続き老朽化した公共施設についても整備をお願いしたい。

《今後の取組の方向性》

(宇和文化会館管理運営事業)

施設の環境整備については、予算も考慮しながら緊急性の高いものから順次進めていきたい。

4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

(2) えひめ国体の推進

【学識経験者の意見】

(愛媛国体施設整備事業)

国体開催に併せ施設を整備されたことは評価できる。今後もこれらの施設の有効利用及び活用を推進していただきたい。

《今後の取組の方向性》

(愛媛国体施設整備事業)

今後も、整備された施設において、市内だけでなく市外及び県外から様々な大会を誘致できるよう関係団体と連絡調整しながらすすめていきたい。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp